

エコドライブ活動の目的・役割、 優秀取組事例、実践方法について

2024年12月19日
交通環境対策部参事
熊井 大

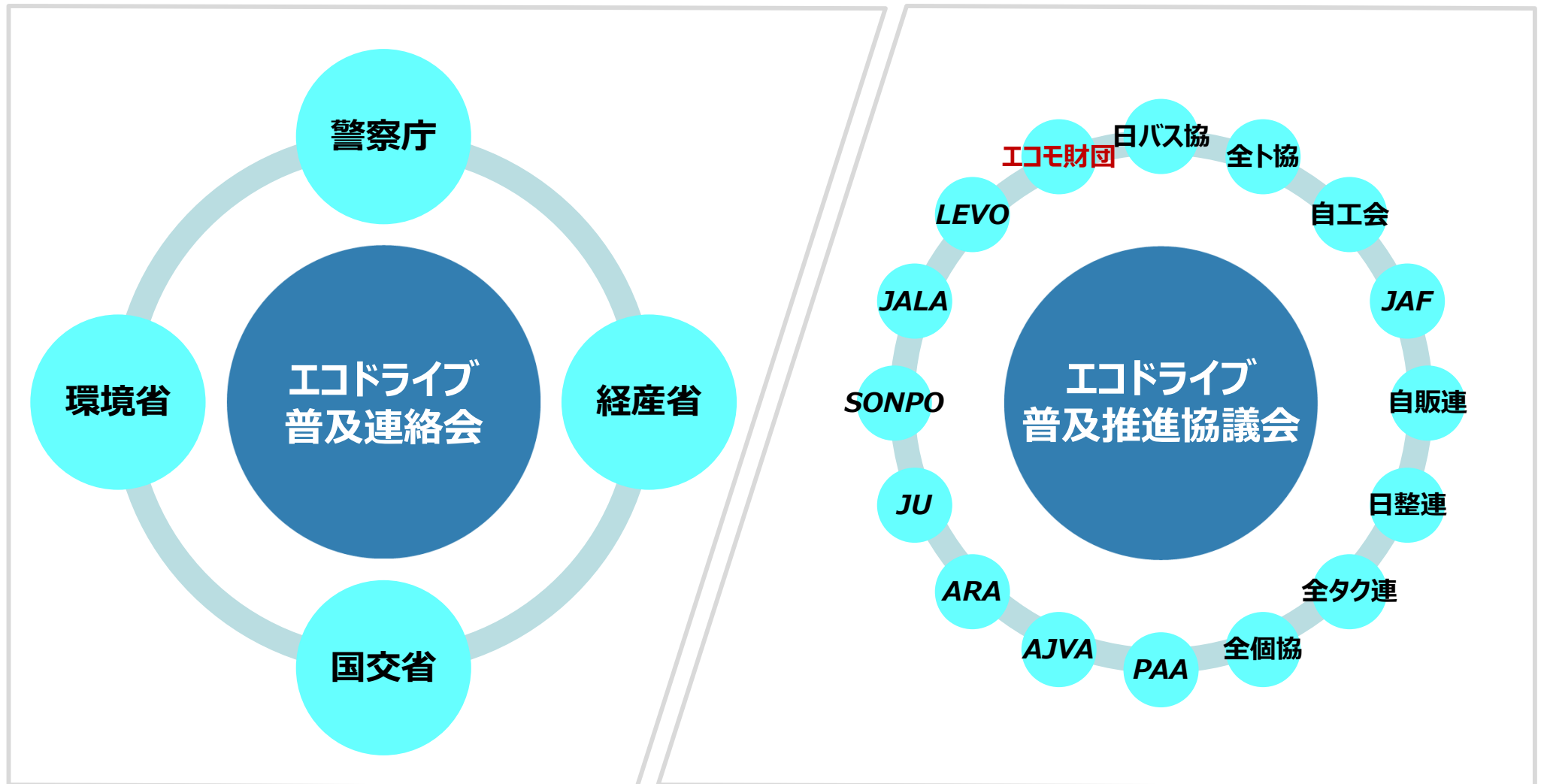
目的・役割

SDGsは企業に求められる経営姿勢 #13気候変動対策

Sustainable Development Goals (2030年までに達成すべき持続可能な開発目標)



日本のエコドライブは官民一体で普及推進



エコドライブ10のすすめ
毎年11月はエコドライブ推進月間

エコドライブ10のすすめ

2020年1月27日 警察庁、国土交通省、環境省

エコドライブ10のすすめ

エコドライブとは、燃料消費量やCO₂排出量を減らし、地球温暖化防止につなげる“運転技術”や“心がけ”です。また、エコドライブは、交通事故の削減につながります。燃料消費量が少ない運転は、お財布にやさしいだけでなく、同乗者が安心できる安全な運転でもあります。心にゆとりをもって走ること、時間にゆとりをもって走ること、これもまた大切なエコドライブの心がけです。エコドライブは、誰にでも今すぐに始めることができるアクションです。小さな意識を習慣にすることで、あなたの運転がよくなって、きっと社会もよくなります。できることから、はじめてみましょう、エコドライブ。

1 自分の燃費を把握しよう

自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。車に装備されている燃費計・エコドライブナビゲーション・インターネットでの燃費管理などのエコドライブ支援機能を使うと便利です。

2 ふんわりアクセル「eスタート」

発進するときは、穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう（最初の5秒で、時速20km程度が目安です）。日々の運転において、やさしい発進を心がけるだけで、10%程度燃費が改善します。焦らず、穏やかな発進は、安全運転にもつながります。

3 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転

走行中は、一定の速度で走ることが心がけましょう。車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、市街地では2%程度、郊外では6%程度も燃費が悪化します。交通状況に応じて速度変化の少ない運転を心がけましょう。

4 減速時は早めにアクセルを離そう

信号が変わるなど停止することがわかったら、早めにアクセルから足を離しましょう。そうするとエンジンブレーキが作動し、2%程度燃費が改善します。また、減速するときや坂道を下るときにもエンジンブレーキを活用しましょう。

5 エアコンの使用は適切に

車のエアコン（A/C）は車内を冷却・除湿する機能です。暖房のみが必要なときは、エアコンスイッチをOFFにしましょう。たとえば、車内の温度設定が外気と同じ25°Cであっても、エアコンスイッチをONにしたままだと12%程度燃費が悪化します。また、冷房が必要なときでも、車内を冷やしすぎないようにしましょう。

※1 交差点で自らエンジン停止する手動アイドリングストップは、以下の点で安全性に問題があるため注意しましょう。（自動アイドリングストップ機能搭載車は同様に取り扱います。）
 ・手動アイドリングストップ中に前後のブレーキを踏むとブレーキの効きが悪くなります。
 ・慣れないと急ブレーキや急発進が生じます。またパワステなどの部品寿命の低下によりエンジンが作動しない場合があります。
 ・エアバッグなどの安全装置や方向指示器などが作動しないため、先頭車付近や坂道での手動アイドリングストップは避けましょう。
 ※2 -20°C程度の極寒地域などで特別な注意が必要です。凍りからぬるるウォームアップ走行で充分です。
 ※3 タイヤの空気圧は1ヶ月で5%程度低下します。
 ※4 適正値より55kPa(0.5kg/cm²)不足した場合は、

6 ムダなアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐車の際は、アイドリングはやめましょう※1。10分間のアイドリング（エアコンOFFの場合）で、130cc程度の燃料を消費します。また、現在の乗用車では基本的に暖機運転は不要です※2。エンジンをかけたらずらに発進しましょう。

7 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報や、地図・カーナビなどを活用して、行き先やルートをあらかじめ確認しましょう。たとえば、1時間のドライブで道に迷い、10分間余計に走行すると17%程度燃料消費量が増加します。さらに、出発後も道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃費と時間の節約になります。

8 タイヤの空気圧から始める点検・整備

タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう※3。タイヤの空気圧が適正値より不足すると、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します※4。また、エンジンオイル・オイルフィルター・エアクリーナメントなどの定期的な交換によっても燃費が改善します。

9 不要な荷物はおろそう

運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。車の燃費は、荷物の重さに大きく影響されます。たとえば、100kgの荷物を載せて走ると、3%程度も燃費が悪化します。また、車の燃費は、空気抵抗にも敏感です。スキーキャリアなどの外装品は、使用しないときは外しましょう。

10 走行の妨げとなる駐車はやめよう

迷惑駐車をやめましょう。交差点付近などの交通の妨げになる場所での駐車は、渋滞をもたらします。迷惑駐車は、他の車の燃費を悪化させるばかりか、交通事故の原因にもなります。迷惑駐車のない道路では、平均速度が向上し、燃費の悪化を防ぎます。

エコドライブ普及連絡会

（警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省）

エコドライブ普及推進協議会HP→



エコドライブのあれこれ

エコカーや、燃費の良い車に乗りましょう。



電気自動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池自動車
 詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.env.go.jp/air/car/lev/index.html>
 環境省HP「次世代自動車の普及促進」



ハイブリッド車・電気自動車のエコドライブ運転方法のコツは？

答え：モーターをできるだけ活用しましょう。

■発進と加速はモーターの得意分野（ハイブリッド車のみ）

モーターの力でゆっくり発進し、エンジンが作動したら目的速度までモーターの力も活かしてゆっくり加速、その後はアクセルを緩めてできるだけモーターのみで走行することで燃費が良くなります。



ハイブリッド車のエンジンの稼働図
 （できるだけエンジンがかからない運転をしましょう）

■ブレーキは発電のチャンス

減速時に早めにアクセルを離してやさしくブレーキを踏み、長い距離をかけてゆっくり停止しましょう。やさしくブレーキを踏むとモーターで発電した電力がバッテリーに充電されます。次の発進・加速時に再利用するので燃費が良くなります。

エコドライブ支援ツールを使いましょう。

様々なエコドライブ支援ツールを利用することで簡単にエコドライブに取り組みます。

①エコドライブランプ*を点灯するように運転しましょう。アクセルをふんわり踏んで運転することになり、燃費が良くなります。



*メーカーによって名称は異なります。

エコドライブランプの例

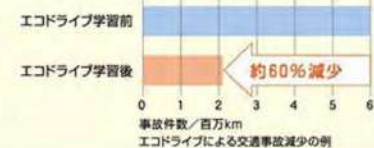
②エコドライブスイッチ*をONにしましょう。車の制御が変わって、ゆっくり加速しやすくなり、燃費が良くなります。



エコドライブスイッチの例

エコドライブで交通事故が減るんです。

ゆっくり発進、ゆっくり停止、十分に車間距離をとるなどエコドライブを心がけることで運転にゆとりが生まれます。これにより交通事故が約60%減少したという報告もあります。エコドライブでエコだけでなく安全運転にもなって一石二鳥ですね。



【新】

1. **自分の燃費を把握しよう**
2. ふんわりアクセル「eスタート」
3. **車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転**
4. 減速時は早めにアクセルを離そう
5. エアコンの使用は適切に
6. ムダなアイドリングはやめよう
7. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
8. タイヤの空気圧から始める点検・整備
9. 不要な荷物はおろそう
10. 走行の妨げとなる駐車はやめよう

まずは燃費の記録

燃費の変化で運転を振り返る

PDCAで燃費を改善し続ける

車間を開けると心がひらく

視界がひらける

情報量が増える

多い情報が処理できる

安心して心がひらく

環境意識が優しくさせる

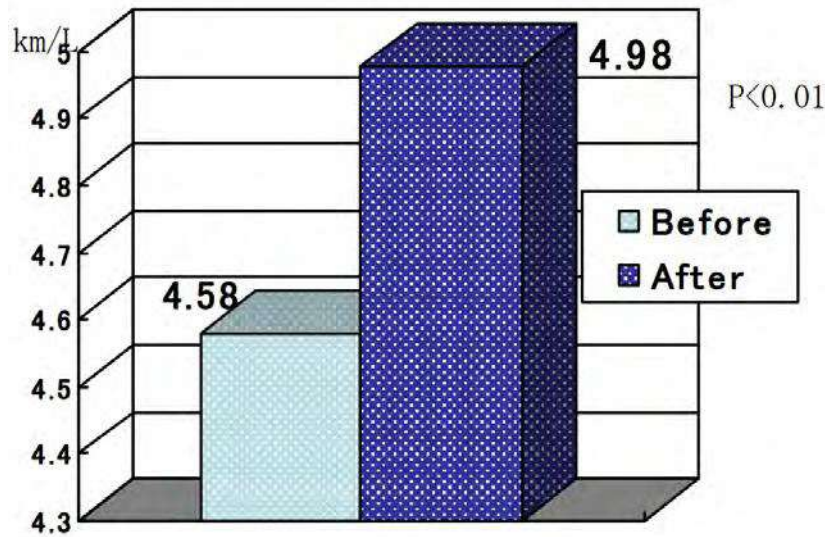
エコドライブ活動による燃費改善と交通事故低減

(間地寛・春日伸予・石太郎・大聖泰弘)

エコドライブ活動：事業所でエコドライブを推進する活動

燃費 +8.7%

事故 ▲51%



Average fuel consumption for “before and after eco-drive activities”

Fig. 2 Improved fuel consumption

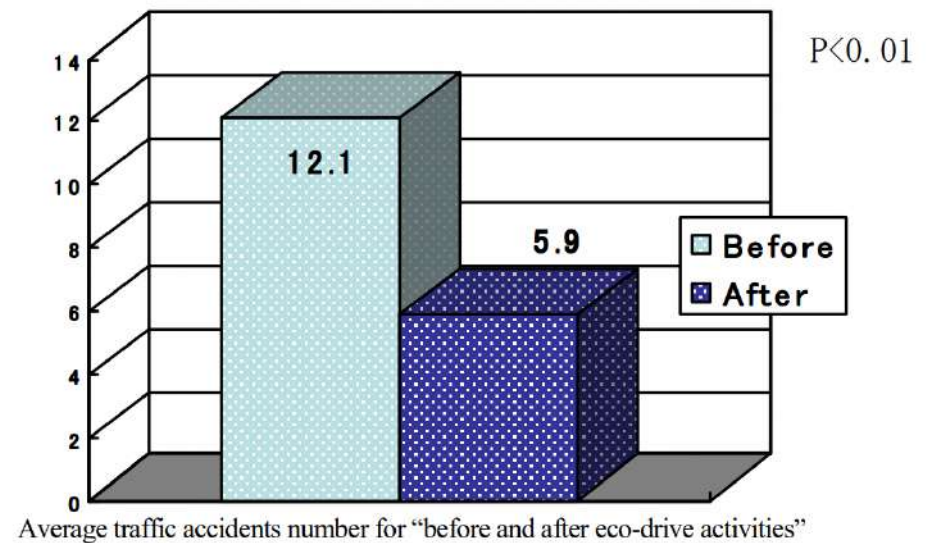
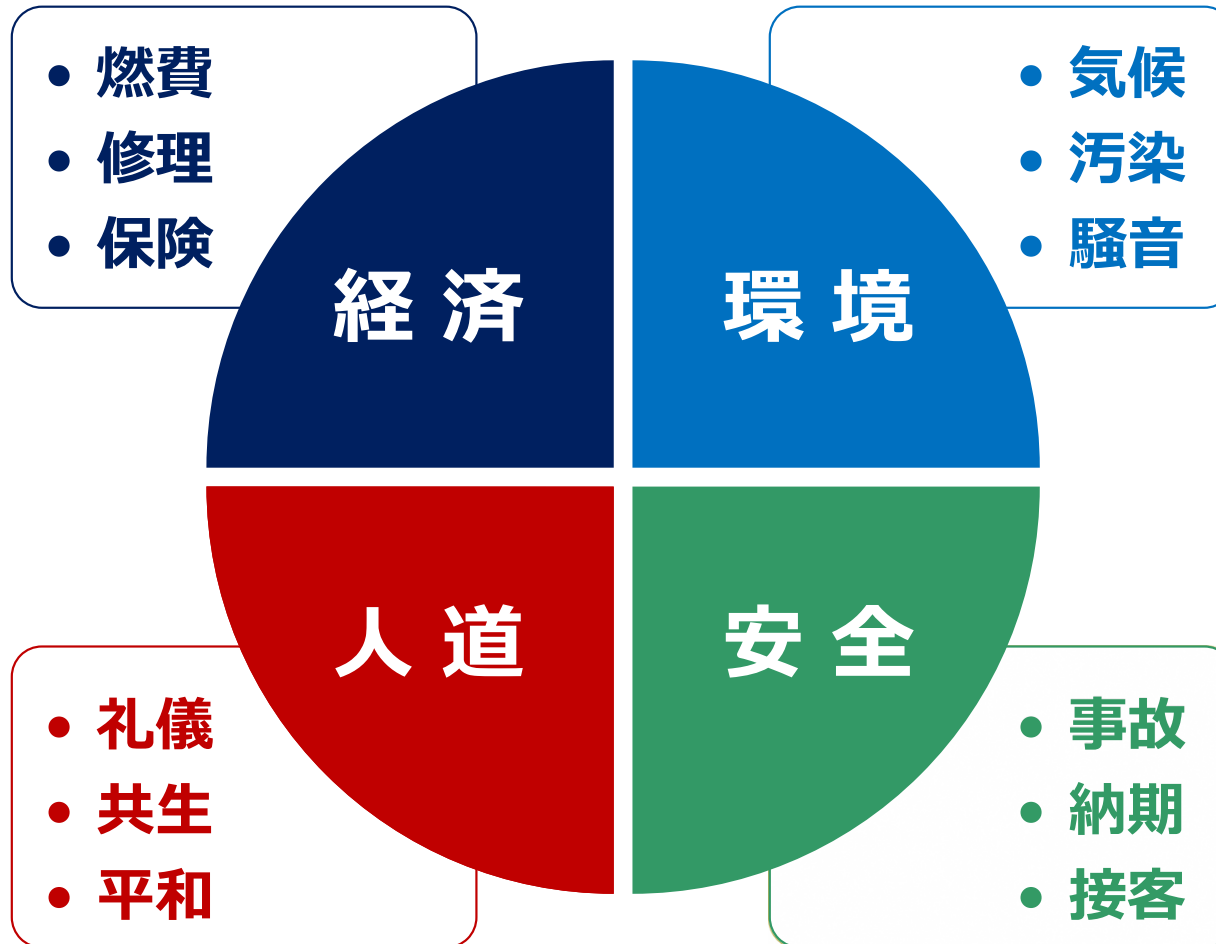


Fig. 6 Fluctuation of number of traffic accidents

<http://www.tta-gep.jp/archivePDF/Ronbun-2.pdf>

エコドライブ活動の目的・役割



優秀取組事例

エコドライブ活動コンクール 公式サイト

2024 年度
エコドライブ活動コンクール

HOME お知らせ コンクールとは 募集要項 応募の流れ Q&A

● コンクール事務局 ● 個人情報 ● お問い合わせ

ログイン

2024 年度
エコドライブ活動コンクール

2024年度 受賞事業者が決定しました!

国土交通大臣賞
環境大臣賞
審査委員長特別賞
優秀賞・優良賞・認定証

受賞結果はこちらから!

2024.12.09 「2024年度エコドライブ活動コンクール」二次審査結果のフィードバックが公開されました!

お知らせ一覧

事業部門
トラック・バス・タクシーなどの
運送事業者

東京 〇〇〇
エ 12-34

新規受付は終了しました

一般部門
運送業以外の一般事業者

東京 〇〇〇
コ 56-78

新規受付は終了しました

支援ビジネス・ユニーク部門

支援ビジネス・ユニーク部門の
詳細については
下記リンクからご確認ください

【募集要項ページへ】

新規受付は終了しました

<https://www.ecodrive-activity-concours.jp/>

エコドライブ活動コンクール 優秀取組事例集




「環境にやさしい取組みをしている運輸事業者」を
認証する制度が、グリーン経営認証です。
国土交通省及び各事業団体の協力を得て、エコモ
財団が推進しています。

 公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団
〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル10階
交通環境対策部 TEL:03-5844-6268 FAX:03-5844-6294

2023年度 エコドライブ活動コンクール 優秀取組事例集



 公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団

<https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/data/ecodrive-activity-concours-2023jirei.pdf>



株式会社サンゲツ

所在地：愛知県名古屋市区幡下1-4-1
 業務内容：流通業(卸売業)
 拠点数：34
 従業員数：1,256名
 車両数：475台
 活動実績：4年



社員と会社、そして地球が幸せになれるエコドライブ

2015年、エコドライブ活動を本格的に開始し、**全営業車にテレマティクスを導入**。その後もエコドライブ支援機器及び安全運転支援機器を積極的に導入するなどハード面と、環境CSRに基づいた様々な取組を行うソフト面、両面から積極的にアプローチを行っている。エコドライブは、社員にとっても、会社にとっても、最終的には地球にとっても良い結果をもたらす取組であるとし、活動を推進。

エコドライブ活動の成果

平成26年度比
23%燃費向上
事故件数 45%削減
 (人身事故、対物事故)

受賞事業者の声

この夏の環境大臣賞受賞に際しては、様々なメディアにニュース掲載されました。予想以上の反響であり、改めてエコドライブへの関心の高まりを感じた次第です。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 全体取組：CSRの重要課題である環境保全活動の一環としてエコドライブ活動に取り組む 体制・目標：CSR委員会を構成する組織のひとつである「環境保全分科会」がエコドライブ活動を担当 	<ul style="list-style-type: none"> 社内イントラネットにて「車両チェック表」を用いた月次管理を実施
教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 情報伝達：エコドライブ普及推進協議会やJAFなどの提供する教育資料を活用 教育実施：分析したテレマティクスのデータを各拠点に展開し、教育に活用 	<ul style="list-style-type: none"> 分析したテレマティクスのデータを各拠点に展開し、教育に活用
燃費管理	<ul style="list-style-type: none"> 燃費目標：テレマティクスから取得した燃費データを基に、車両別や拠点別など分析を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 燃費目標：前年比105%向上が目標
活動成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> 燃費向上：平成26年度(活動前)比で23%燃費が向上 事故管理：平成26年度(活動前)比で人身事故、対物事故が44.7%削減 対外活動：ポスター掲示などを進めて取引先へのエコドライブ活動の啓蒙 	<ul style="list-style-type: none"> 燃費向上：前年比105%向上が目標 事故管理：平成26年度(活動前)比で人身事故、対物事故が44.7%削減 対外活動：ポスター掲示などを進めて取引先へのエコドライブ活動の啓蒙
継続実績と方策	<ul style="list-style-type: none"> 活動実績：平成27年度より活動を開始 エコカー車：全車両にテレマティクスを導入。その他安全機器の導入やHV車への切り替えも実施 	<ul style="list-style-type: none"> 活動実績：平成27年度より活動を開始 エコカー車：全車両にテレマティクスを導入。その他安全機器の導入やHV車への切り替えも実施

エコドライブ活動 主な応用取組



教育の実施



評価ポイント 環境保全活動の周知のため、興味を持ってもらう工夫を凝らしたツールを活用

自社オリジナル漫画も活用した社内報「eco通信」

エコドライブも含めた環境保全に関わる情報発信のため「eco通信」を環境保全分科会(総務課)が作成し、イントラネットにて月次配信。環境に関するコラムの他、自社オリジナルキャラクターの漫画を作成し、掲載。社内での閲覧だけでなく、自宅に持ち帰り家族に見せる社員もいるなど、環境保全活動に興味を持ってもらうためのツールとして活躍。



eco通信



教育の実施

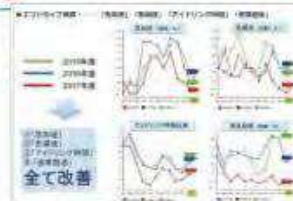


評価ポイント 運転結果の「見える化」により、安全運転だけでなくエコドライブへの意識が向上

テレマティクスを活用した車両データ管理の徹底

全車両にテレマティクスを搭載し、燃費・CO2排出量のほか、急加速回数・急減速回数・アイドリング時間比率・速度超過回数などの運行データを収集し、管理。

それぞれ目標値を定めており、各データの対目標値での結果は、本社から拠点へ展開され、担当マネージャーから運転者への指導に使用される。



テレマティクスの運行データの推移



継続実績と方策



評価ポイント エコドライブ・安全運転のサポートをハード面から推進

エコドライブ支援機器及び安全運転支援機器を積極的に導入

2015年活動開始時に全車両にテレマティクスを導入して以降、2015年9月にはカーナビを標準装備化し、エコドライブ支援機器を積極的に導入。

その他、ドライブレコーダー、バックモニター、自動ブレーキなどの安全運転支援機器も標準装備化も実施。

また2018年以降、新車入替時にハイブリッド車への切替えも順次実施。



エコドライブ支援機器及び安全運転支援機器導入の流れ



継続実績と方策



評価ポイント アメとムチの両方の制度を設けることで、社員の安全・エコドライブに対する意識を醸成

表彰制度と懲戒制度による安全・エコドライブ意識の醸成

全営業員500名分の運転記録証明を年に2回取得し、3年間無事故の営業員に対して表彰を実施。

また、業務中の速度超過や携帯電話使用等の自分で気を付けられる違反に対する懲戒制度を設け、違反内容に応じて「厳重注意」「罰戒」「減給」等を取り決め。



運転診断結果





若松ガス株式会社

所在地：福島県会津若松市千石町4-16
 業務内容：ガス供給業
 拠点数：7
 従業員数：172名
 車両数：118台
 活動実績：10年



自社独自の取組でエコドライブ活動を継続

管理者が受講した教習所でのエコドライブ講習をきっかけに活動開始。自社の燃費管理のルールをまとめた「車輛燃料管理手順書」を策定し、円滑に燃費の記録・分析・管理ができる体制を構築。

■ **全社員向けの環境教育を、オリジナルで作成したテスト形式で実施。**独自の工夫を凝らした取組を通して、営業・ガス供給・工事車両でエコドライブ活動を継続。

エコドライブ活動の成果

平成22年度比
13.6%向上
 (ガソリン車)
事故件数40%削減
 (保険適用外も含む)

受賞事業者の声

環境にやさしい会社を目指して十数年前より様々な取り組みを実施していますが、その中でも環境影響が大きいエコドライブ活動が評価された事は弊社の今後の環境保全活動の励みになります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 全体取組：ISO14001を取得し、環境保全活動の一つとしてエコドライブ活動を実施 役割・目標：社長を最高責任者とした環境マネジメントシステム推進体制を構築 点検・整備：車両点検表を用いて車両担当者が実施 	<ul style="list-style-type: none"> 年に4回安全運転管理者による「車両外点検」を実施
教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 教育資料：月間の運転を振り返る「エコドライブ実施状況アンケート」を毎月全社員が実施 教育実施 	<ul style="list-style-type: none"> 安全運転講習会を年2回全拠点で実施 安全運転講習会
燃費管理	<ul style="list-style-type: none"> 燃費管理：燃費管理責任者である車両燃費実施リーダーを部署毎に配置 燃費目標：前年度比97%以上の車両が全体の8割となることを目標として設定 	<ul style="list-style-type: none"> 各拠点ではフィードバックされた結果をもとにドライバーへ指導を行う
活動成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> 燃費向上：平成20年度比で、7.6%燃費が向上 事故管理：交通安全防止キャンペーンを実施 対外活動：平成26年に「会津若松環境大使」、平成27年に「うつくしま しくしま 環境副都府」、平成28年に「地域環境保全功労者表彰(環境大臣表彰)」を受賞 	<ul style="list-style-type: none"> 地球にやさしい「ふくしま」環境社会推進協議会が主催する「環境功労者表彰」
推進実績と方策	<ul style="list-style-type: none"> 活動実績：平成20年度より活動開始 独自工夫：テレマティクス(通信型ドライブレコーダー)を全車両に導入 テレマティクスで測定する安全運転評価値及びエコ運転評価値において好成績を取得した社員を表彰 	<ul style="list-style-type: none"> 運転記録証明を毎年取得し、継続して無事故無違反の社員を表彰

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント イン트라ネット上で回答できるクイズ形式にすることで、全社員が参加しやすいよう工夫

自社オリジナルのテスト形式で全社員への環境教育を実施

年に2回、社内イントラネットを通じて環境問題についての教育を目的とした「ISO14001 スキルアップ講習会」をテスト形式で実施し、全社員からの回答を徹底。

テスト問題は、エコドライブ活動を含む社内での環境保全活動に関するものから一般常識まで、自社オリジナルの内容で作成。



ISO14001 スキルアップ講習会

教育の実施

評価ポイント 毎月振り返りを実施することで、エコドライブのコツやポイントが浸透

毎月の「車両運転自己チェック」の全社展開

「車両運転自己チェック」を毎月全社員対象で実施。「早めのアクセルオフを行っている」「急の付く運転はしないようにしている」などの項目を設け、社員が自分の運転を振り返るツールとして活用。結果は拠点毎で集計し、社内イントラネット上で共有される。

業務上で車両を使用しない社員は家用車の運転について回答しており、全社的なエコドライブ活動の取組として展開。



車両運転自己チェック 分析結果

燃費管理

評価ポイント 運用のルールを明確にし、スムーズな燃費管理を実現

「車輛燃料管理手順書」に基づいた燃費管理

燃費管理のルールをまとめた「車輛燃料管理手順書」を策定。車両管理者が給油量や走行距離、点検記録などを記入する「車両点検表」にて給油毎の燃費を記録。

月次で拠点の責任者が回収し、ISO事務局に報告。人事・総務がデータを取りまとめ、拠点にイントラネットを通じて展開される。フィードバックされたデータは拠点で社員への指導に活用。



車輛燃料管理手順書

継続実績と方策

評価ポイント エコドライブの成果を見える化し、拠点での社員指導に活用

テレマティクスの全車両への導入と活用

テレマティクス(通信型ドライブレコーダー)を全車両に導入。運行日報を出力することで「安全エコー運転分析」「危険運転状況」などのデータを車両別、日別、月別などで確認することが可能。

各拠点での閲覧も可能で、安全・エコー運転の頻度や点数を見える化することで改善点が明らかになり、社員のエコドライブ・安全運転への意識を醸成。



運行日報





株式会社日立産機ドライブ・ソリューションズ

所在地：千葉県習志野市東習志野3-15-11
 業務内容：環境関連サービス事業
 拠点数：1
 従業員数：活動部門180名(全社761名)
 車両数：89台
 活動実績：11年



エコドライブの浸透=安全運転の定着化

自社の環境方針及び日立グループ「日立環境イノベーション2050」に基づき、環境安全の一環として本社及び神奈川地区の試料採取、工事立ち会い、営業などの全社有車でエコドライブ活動を推進。
 運転手自らが日々記入した日報に基づき、環境ISO推進グループが、**環境ISO14001に基づいたPDCAサイクルに沿って、活動の進捗状況・結果の原因分析などを確実に実施**することで、環境保全に加え安全にも繋がっている。

エコドライブ活動の成果

平成19年度比
12.0%燃費向上
 (全社平均)
事故件数・
(保険適用の事故)

受賞事業者の声

優秀賞受賞をホームページに掲載することで、エコドライブ活動への取り組みをPRすることが出来ました。今後はエコ安全ドライブを目指して活動します。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	日立グループを社方針の下、エコドライブを推進
	体制・目標	・ISOマネジメントシステムによる組織体制を構築
教育の実施	現場啓蒙	・エコドライブ動画を視聴し、アンケートを実施
	教育資料	・エコモ財団の資料や自工会等の動画などをイントラネットに掲載し活用
燃費管理	燃費目標	・現状を下回らないよう、従業員に周知
	燃費向上	・平成28年度比で、2.9%燃費が向上
活動成果と評価	事故管理	・事故件数を集計・分析
	特許活動	・自治体主催のエコドライブセミナーにて活動事例を発表
継続実績と方策	活動実績	・平成19年より活動開始 ・ドライブレコーダーを81台に装着
	エコカー等	・車両更新時に積極的にエコカー(ハイブリッド車、低燃費車)を導入

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 各担当者にPDCAサイクルに沿った具体的な役割を設定

環境ISO14001に基づいたPDCAの着実な実践

環境方針に基づき、環境ISOでの実行プログラムにおいて環境管理を目標として環境保全活動を展開。
 エコドライブにおいても、社長をトップとした管理体制を構築し、目標の立案～教育～レビュー～評価・表彰のPDCAサイクルを推進。



環境方針

燃費管理

評価ポイント 外部講習を活用することで、客観的なエコドライブレベルが見える化

外部エコドライブ講習の活用

毎年、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団)が認定するエコドライブ講習会に、各部門から選出した従業員複数名が参加。
 受講した従業員はエコドライブの効果を他の社員にも感じてもらえる様、定期ミーティングの場等で自身のエコドライブ診断結果などを報告。



エコモ財団認定の講習に参加

教育の実施

評価ポイント 乗務員に新たな発見・気づきの機会を創出

タッチパネルによる自動車運転適性検査の実施

自動車運転適性審査を本社にて実施。
 50インチの大型タッチパネルを利用した2つの診断(視野の広さと反応、速度予測と判断力)とパソコンでの立体映像による3つの診断(動体視力、距離感覚、眼の動き)を行い運転者の視機能を判定。
 当日は70名が参加し、安全運転の定着化を図る。



自動車運転適性検査

継続実績と方策

評価ポイント ハイブリッド車購入の判断材料として、エコドライブ実績値を活用

社内報「HEART & HEART」の発行

社内に編集委員を設置し、社内報を毎月発行。
 本コンクールの受賞結果や、対外活動、エコドライブ教育など様々な情報を定期的に発信。
 社内イントラネットにも掲載することで全従業員が閲覧可能。



社内報「HEART & HEART」



株式会社エスアールエル

所在地：東京都新宿区西新宿2-1-1
 業務内容：サービス業
 拠点数：143
 従業員数：5,631名
 車両数：1,602台
 活動実績：7年



ドライバーに焦点を当てきめ細やかな活動を継続

親会社であるみらかホールディングスのCSR方針に基づき、ISO14001を取得、掲げている環境方針のひとつとしてエコドライブ活動を全社の換体集荷・営業車両で実施。ハード面の導入だけでなく自社独自のエコドライブマニュアルの作成や、**後職・配属先に応じた各種講習を開催し実践的なエコドライブ教育を実施**するなど、運転する「人」に重きを置いたエコドライブ活動を継続して実施。

エコドライブ活動の成果

平成23年度比
16.8%燃費向上
平成26年度比
事故件数26.4%削減
(人身事故、対物事故)

受賞事業者の声

今回の受賞が当社グループの社内報で掲載され、さらに当社グループのCSR活動においても顕著な功績として社内表彰を受賞することができました。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 全体取組：平成23年にISO14001を取得し、エコドライブを含む環境保全活動を継続して実施 体制・目標：毎年1回、全社員に向けての環境教育を実施し、運用の変更や目標を確認 点検・整備：全5項目の運行点検を乗車の際必ず実施し、「車両管理表」に記録 	<ul style="list-style-type: none"> 燃費費は「前年度比1%向上」を目標として掲げる 	
教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題 教育資料：自社独自の「エコドライブマニュアル」を作成 教育実施 	<ul style="list-style-type: none"> 社内イントラネット上に「取得奨励表」を開設し、燃費情報を共有 	
燃費管理	<ul style="list-style-type: none"> 燃費管理：「車両管理表」に車両担当者が記録した給油データをもとに、本社で燃費の分析を実施し、全国へフィードバック 燃費目標：前年度比1%向上が目標。その他、エリア毎の目標燃費を毎年設定 	<ul style="list-style-type: none"> 将来的に自社開発集荷アプリでの燃費管理を目指す 	
活動成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> 燃費向上：平成23年度比で16.8%向上 事故管理：事故の発生件数と損害額の推移を集計し、分析 対外活動 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年「環境報告書」を発行し、自社の取組内容や成果を広く公開 	
継続実績と方策	<ul style="list-style-type: none"> 活動継続：平成23年度より活動開始 エコカー等：ハイブリッド車及び燃費性能の高い車両への切り替えの他、ブレーキアシスト機能を標準装備化。テレマティクスを導入も推進 独自工夫：無事故無違反キャンペーンの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 車両後部にエコドライブステッカーを貼付、社外への啓蒙も実施 	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 会社としての環境保全活動が全国各地の拠点に浸透する仕組み

環境マネジメントシステムで取り組むエコドライブ

社長をトップとした環境マネジメントシステム(EMS)によりエコドライブ活動を推進。四半期ごとに環境管理責任者等で構成された環境管理委員会を開催し、全国における活動の進捗を確認。各拠点では、全拠点を15のエリア(管理単位)に分け、エリア毎の責任者を選定し、活動を実施。業務車両を保有しているエリアでは、エリア毎の燃費向上の目標を設定するなど、全社を挙げて取り組める体制を構築。



EMS組織体制

教育の実施

評価ポイント エコドライブの意識向上や事故撲滅のため、後職や配属先に応じた様々な講習を開催

冬道体験講習等の実践的なエコドライブ教育を実施

新入社員の新人研修カリキュラムに自動車教習所での実技講習を取り入れ、運転技術だけでなく、エコドライブを意識した運転の習得を推進。

また、拠点長研修では外部講師を招き、「安全運転管理者講習会」を導入。

その他にも、積雪の少ない地域から積雪地域へ異動となった社員を対象に雪道での重大事故を防ぐため、「冬道体験講習会」を実施するとともに、ハイブリッド四駆車も導入。



冬道体験講習会 ポスター

活動成果と評価

評価ポイント 全社で事故撲滅を目指すために拠点毎に取組める工夫

「事故ゼロボード」による安全意識の向上

事故撲滅の対策として、拠点毎に無事故日数を明記した「事故ゼロボード」を作成し、全拠点に配布。

定期的に拠点毎の無事故日数ランキングを展開し、拠点の担当者がボードの無事故日数を更新する。

各拠点では、毎日の朝礼時に無事故連続日数を読み上げ、事故ゼロを目標とし、社員の意識の向上を目指すためのツールとして活用。



事故ゼロボード

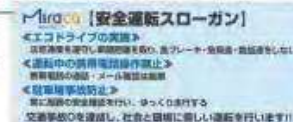
継続実績と方策

評価ポイント 常にエコドライブと安全運転を意識できる環境作り

「安全運転スローガン」等の各種ステッカーの工夫

自社で「安全運転スローガン」を策定。オリジナルのステッカーを作成し、社内車両の運転席から見える位置に貼り付け、安全・エコドライブ意識を醸成するとともに、車両後部に「エコドライブしています」ステッカーを貼り付け、外部へアピール。

その他にもエコドライブ10のすすめから5項目をピックアップし作成した「エコドライブ5」ステッカーも車内に貼付。社員に向けてのさらなるエコドライブの啓蒙がねらい。



安全運転スローガン



ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社

所在地：東京都目黒区上目黒2-1-1中目黒GTタワー
 業務内容：製造業(自動車以外)
 拠点数：7
 従業員数：150名
 車両数：71台
 活動実績：3年



「環境負荷低減」を目指す企業ビジョン

2015年事故発生件数が過去最多を記録したことをきっかけに、社内の安全運転への意識が高まり、エコドライブ活動を開始。2030年までに社用車の100%をEV自動車化する(EV100)に奮起するなど、全社を挙げた活動を継続。

また、リース会社と連携して安全運転座学講習を開催し、安全やエコドライブに関する教育を行うなど、社員全員のエコドライブ意識を醸成する取組を数多く実施。

エコドライブ活動の成果

2016年度比

3%燃費向上
 事故件数33%削減
 (保険適用の事故)

受賞事業者の声

この度は受賞ありがとうございます。
 弊社では今後もSafety & ECO Driveの継続を活動指針として、より高い成果が挙げられるよう努力してまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

	全体概要 環境負荷を減らし、社会に貢献しながらビジネスの成長を実現する方法を示す[ユニリーバサステナブル・インク・プラン]に基づいて活動を実施		交通安全管理委員会をトップとし、各営業所に車両安全運転管理者を配置
	体制・目標 点検・整備		車両安全管理者
	課題/問題 教育資料		リース会社より提供されるエコドライブに関する教育資料を活用
	教育の実施 教育実施		ドライバー自身が給油毎の燃費を記録
	燃費管理 燃費目標		燃費管理表
	活動成果 燃費向上		事故種別毎に事故発生件数を集計
	継続実績と方策 活動実績		専売地を認め、全台ハイブリッド車を導入
	エコカー等 Eco工友		

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

リース会社と協力することで内容の充実した講習を実施

受講必須の安全運転座学講習

エコドライブ推進担当者が年2回(2月・9月)全国の各営業所を巡回し、通勤を含め車両を使用する社員に対して安全運転座学講習会を開催。

リース会社と協力し、様々な教育資料を使用して安全やエコドライブに関する教育を実施。なお、座学講習を受講していない従業員は、社用車の運転を認められない。



教育資料

燃費管理

評価ポイント

徹底した燃費管理体制で入力漏れを防止

どこからでも簡単に燃費を入力・確認できる管理システム

燃費管理はリース会社の提供する燃費管理システムを使用しており、運転した社員自らが給油毎に燃費を入力。スマートフォンからでもアクセスが可能で、燃費実績もサイト内で確認可能。

マネージャー及び推進責任者が運行記録のチェックを行うほか、リース会社側のシステムでも異常と思われる走行データはアラートが出るようになっており、入力漏れを防止し、徹底した燃費管理を実現。



燃費管理システム

活動成果

評価ポイント

安全運転の意識を持たせる工夫

定期的な情報共有メールの配信

年間安全カレンダーを作成しており、エコドライブ・安全運転に関するトピックスや、天候や災害などへの注意喚起などを安全管理者にメールで週次配信。また、事故の発生状況なども月次で配信される。

配信された内容はエリアマネージャーから社員へ都度フィードバックし、その結果を推進責任者へ報告する。本社から営業所、最終的に社員へと定期的な情報共有を行うことで、会社全体のエコドライブ意識を醸成。



年間安全カレンダー

継続実績と方策

評価ポイント

社員同士でエコドライブのコツを共有

燃費優良者の表彰・事例の発表

燃費改善率で順位を付け、各営業所から1名ずつ年間の燃費優良者を決定。毎年2月に開催している安全運転座学講習会の中で表彰。活動に継続して取り組む社員のモチベーションを維持するねらい。

さらに、受賞者は講習会の中で自身が実践しているエコドライブのコツなどを発表。好事例を共有することで、他社員のエコドライブ技術向上の効果も期待される。



表彰式





沖縄トヨタ自動車株式会社

所在地：沖縄県浦添市勢理客4-18-1
 業務内容：サービス業
 拠点数：44
 従業員数：1,210名
 車両数：933台
 活動実績：8年



地域特性を活かし、社員のやる気を引き出すエコドライブ活動

2011年のエコ宣言をきっかけに、2012年よりエコドライブ活動をスタート。交通事故の防止と沖縄の自然環境を次世代に残すことを目指し、エコドライブ活動に取り組む。

社内だけでなく社外にも波及性の高いエコドライブ活動を積極的に実施。顧客に加えて社員も参加できるエコドライブコンテストや地域独自の走行シーンを考慮した目標設定など独自の取組が特徴。

エコドライブ活動の成果

2011年度比

27.5%燃費向上
 事故件数23.1%削減
 (保険適用の事故)

受賞事業者の声

この度、2回目の取組賞を受賞し、身に余る光栄でございます。受賞後は地元新聞社2紙でも取り上げられ、多くのお問い合わせを頂きました。エコドライブ活動をサポートしている企業様から、さらなる賞賛の依頼も頂きました。クルマを仕事にしている私たちが誇れる活動を今後も展開していきます。

エコドライブ活動 主な基本取組

<p>全体取組</p>	<p>・年度方針書にエコドライブの項目を明記し全社員に配布</p>	<p>対前年比3%改善の年間燃費目標を設定</p>
<p>取組体制の整備</p>	<p>・点検・整備 ・年1回の点検および半年に1回のオイル交換を義務付け</p>	
<p>職場問題</p>	<p>・エコドライブ10のすすめを参考にした啓発ポスターを作成、掲示</p>	<p>毎月エコドライブのテーマを決め、教育資料を各店舗に配布し活用</p>
<p>教育の実施</p>	<p>・新人社員向け、エコドライブ研修を実施</p>	<p>エコドライブ</p>
<p>燃費管理</p>	<p>・燃費管理サイトで、各個人で自身の燃費を管理</p>	<p>燃費目標は会社目標に加え、車両条件を考慮し個人(車両)ごとに設定</p>
<p>燃費向上</p>	<p>・2011年度比で27.5%燃費が向上 (HV2000cc以上)</p>	<p>独自に発行している情報誌にてエコドライブ掲載ページを掲載</p>
<p>事故管理</p>	<p>・2013年度比で54.5%事故が減少</p>	
<p>活動成果</p>	<p>・対外活動</p>	
<p>活動実績</p>	<p>・2012年より活動開始</p>	<p>年度方針発表会にて「燃費王」ランキング上位を表彰</p>
<p>エコカー号</p>	<p>・社有車/試乗車の約9割はHV車もしくはアイドリングストップ車</p>	
<p>継続実績と方策</p>	<p>・独自工夫</p>	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

社外にも良い影響を与えるエコドライブ活動

お客様も社員も360°でエコドライブを普及

2020年度より、活動をグループ展開し、OTMグループとして約1,200人規模協同のエコドライブ活動を開始。グループ全体にエコドライブ活動を推進することで、「燃費王決定戦」の活動周知や募集範囲を拡大するなど、波及性の高いエコドライブコンテストがさらにレベルの高い取組に昇華。

さらに「PHV 大人の自由研究」と題し、2年間の月別燃費やソーラー充電への考察などをまとめたレポートを作成した顧客もいるなど、同社のエコドライブ活動は対外的にも大きな影響を与えている。



燃費王決定戦2020

燃費管理

評価ポイント

地域の特性を考慮したモチベーション維持の取組

渋滞など走行地域の状況を考慮した燃費目標を設定

沖縄トヨタ自動車主催する燃費管理サイト「燃費王」では、社員一人ひとりにアカウントが設けられており、業務時だけでなく自家用車での通勤時の燃費管理にも活用。

沖縄では那覇市などの市街と郊外では、渋滞により燃費に大きな差が生じるため、設定する店舗や住所によって渋滞を考慮した個人燃費目標を算出。燃費目標達成率が走行環境に左右されにくくなっている。



燃費管理サイト「燃費王」

活動成果

評価ポイント

自社実績や分析した燃費データを活用した対外活動

出張講習会など企業向けエコドライブサポートを実施

各店舗のエコドライブ担当者が企業向けエコドライブ講習会を開催。講習会后、申し込みがあった企業には実際に訪問し、日常点検や実車を使ったエコドライブ講習、座学講習などを実施。

燃費管理サイトで収集したデータをもとに燃費の分析を行い、訪問・面談などを通して結果のフィードバックやアドバイスを提供。過去実績は24社にのぼり、自社の活動実績をもとに、他社のエコドライブ活動のサポートにも注力している。



エコドライブ講習会

継続実績と方策

評価ポイント

社員のエコドライブ意識向上につながる表彰制度

競争意識を高めるランキング表示と社内表彰

燃費管理サイト「燃費王」を活用し、各個人がスマホやPCで自身の燃費を管理。給油ごとに個人目標や車両のカatalog燃費との比較が可能。そのため、振り返り材料として活用。入力した燃費は集計し、社内ランキングを作成しており、サイトトップにて周知。競争意識を高め、エコドライブ活動への積極的な参加を促す。さらに、燃費結果の優秀者を全社員の前で表彰することで、モチベーションアップにもつながっている。



社内表彰





メルダシステムエンジニアリング株式会社

所在地：愛知県名古屋市東区葵1-19-30
 業務内容：流通業(小売業)
 拠点数：9
 従業員数：144名
 車両数：52台
 活動実績：9年



ワンチームを目指して取り組むエコドライブ活動

販売会社のため、営業担当者による個人主体の業務が中心となることから、全社員が一つのチームとして活動する機会が少なかった。そのため、**全社員がワンチームとなつて一つの目標に向かって成果を出せる活動**がしたいとの気運が高まりエコドライブ活動を開始。
 毎月1回、独自のエコドライブ全社員月報を発行。部門・拠点単位での燃費実績や給油実績、エコドライブ実施状況、運転者別での燃費ベスト5などを掲載し、社内イントラネットを用いて周知することで全社員への浸透を図っている。

エコドライブ活動の成果

2016年度比
22.2%燃費向上
事故件数37.5%削減

受賞事業者の声

活動をはじめ9年でこの様な実ある賞を頂く大変嬉しく光栄に感じております。今後も更なる「環境に優しい企業」を目指し取り組んでまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 全体取組：ISO14001の活動として全社でエコドライブに取り組む 体制・目標：社長がトップ、管理部長が推進責任者となり、ISO委員が実務を行いエコドライブ活動を推進 点検・整備 	<ul style="list-style-type: none"> 社用車台帳を作成し、3か月に1回の定期検修や、検修前の油量点検などを忘れなく行えるよう管理
教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 職場問題：独自の環境方針カードを全社員が情報 教育資料：JAFや環境省などの教育資料を使用 教育実施 	<ul style="list-style-type: none"> 外巻検修を促す。年に1回交通安全並びにエコドライブに関する講習会を開催 エコドライブ講習会
燃費管理	<ul style="list-style-type: none"> 燃費管理：ドライバーが給油した際に運転日報へ給油量、給油時の距離、燃費を記入し毎週提出したものを管理部で一括管理 燃費目標 	<ul style="list-style-type: none"> 全社有車の台数における平均燃費の前年比1%向上を目標として設定 1% UP
活動成果	<ul style="list-style-type: none"> 燃費向上：2013年度比で、36.1%燃費が向上(改善したこと5百万円/年のガソリン代を削減) 事故管理：2016年度比で、事故件数が37.5%減少 対外活動 	<ul style="list-style-type: none"> 自社ホームページにエコドライブの取組内容を公開 エコドライブの取組内容
継続実績と方策	<ul style="list-style-type: none"> 活動継続：2011年より、燃費向上や交通事故削減を目的にエコドライブ活動を開始 エコカー等：ガソリン車からHV車への切り替えを促進しており、社有車の76.9%がHV車 独自工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 安全運転とエコドライブについての表彰メールを毎月3回配信

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 全社一丸となって取り組むエコドライブ活動の組織構成

全社員で取り組むエコドライブ活動

全社員が「ワンチーム」となり、一つの目標に向かって取り組むツールとしてエコドライブ活動に注力。
 エコドライブ活動において事故減少やコストダウンなど明確な効果を出すため、社長をトップとしたエコドライブ推進組織を設置。
 さらに、各拠点にエコドライブ推進担当者を配置することで、全社一丸となって活動を推進。また、エコドライブ活動のサポートとして、安全衛生活動やISO14001の活動などと連動。



エコドライブ推進組織

教育の実施

評価ポイント 多くの教育機会を設け社内のエコドライブに関するノウハウを向上させる工夫

社外講習を活用しつつ、社員を社内のインストラクターに認定

部門ごとに教育計画を策定し、地球環境に関する社内講習の実施や、自社環境方針カードを全社員が携行するなど環境面からのエコドライブ教育に注力。
 また、社内インストラクターを増員するため、会社として自治体やJAFが主催する「エコドライブ講習会」へ積極的に参加しており、社員のモチベーション維持やエコドライブ技術の向上を目指す工夫を継続的に実施。



エコドライブ講習会

教育の実施

評価ポイント 業務で運転しないドライバーも対象とした教育

Eラーニングを活用した社内のエコドライブ教育

月に1回、運転免許を持っている社員全員を対象に交通安全教育に関するEラーニングを実施。
 カリキュラム内にはエコドライブに関する教育も含まれており、エコドライブが交通安全につながる点をわかりやすく啓発することで、会社全体のエコドライブ意識を向上。



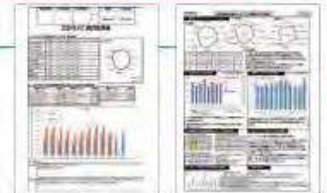
Eラーニング

継続実績と方策

評価ポイント 部門ごとの燃費を集計しエコドライブの結果を全社員に周知

「エコドライブ全社員月報」「部門別月報」を毎月発行

部門担当者ごとにエコドライブの実施状況をチェックシートに記入し、部門ISO委員が燃費実績と併せて取りまとめ、その結果を踏まえて上長がコメントを記載。その後、ISO事務局が全部門より集めた「エコドライブ部門別月報」を集計し、「エコドライブ全社員月報」にまとめ全社員に展開。
 さらに、コラムなども掲載し、エコドライブをより身近に感じられるよう工夫するなど、社員のエコドライブ意識の向上に貢献。



エコドライブ部門別月報 エコドライブ全社員月報



株式会社日産フィナンシャルサービス

所在地：千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1
 WBGマリヴウエスト14階
 業務内容：金融・保険業
 拠点数：1
 従業員数：729名
 車両数：172台
 活動実績：6年



テレマティクスを活用した社内外向けのエコドライブ活動

2015年よりエコドライブ活動をスタート。継続的に活動を進めていく中で、テレマティクスを活用した取組の効果に着目。エコドライブの習慣化を目的としたテレマティクスの活用を積極的に推進している。
 また、毎年開催しているカーリース顧客向け「エコ&セーフティードライブコンテスト」では「**テレマティクス活用部門**」を新設。社内だけでなく、社外へもテレマティクスを活用したエコドライブ活動を推奨する活動も行っている。

エコドライブ活動の成果

2015年度比
16.6%燃費向上
 (ガソリン車2000cc以下)
85.3%削減
 (すべての事故)

受賞事業者の声

現場大臣賞の受賞は大変光栄な事であると同時に、肩が引ける思いがあります。
 日産グループの企業として「ZERO EMISSION」「ZERO FATALITY」の実現に貢献できるよう、この取組を社員一丸となり、さらに推進し広くお客様に普及させていきたいと考えております。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 体制・目標：事故率、燃費を年度目標に設定し、社内に周知。結果は各部門会議などで全社に共有 点検・整備：「社用車整備ガイドライン」にて点検・整備の方針を明記 	<ul style="list-style-type: none"> 行動規範にて「環境安全・交通安全」を明記しインターネットで全社員に周知
教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題 教育資料：エコドライブシンポジウムの講演資料を活用。さらに「個別」「目的別」等に分け効率的な教育を実施 教育実施：テレマティクスデータを基に、OJT、Off-JT、自己啓発を軸に教育を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 年に1度、全社員を対象とした、行動規範研修を行い、理解度測定を実施
燃費管理	<ul style="list-style-type: none"> 燃費管理 燃費目標：2015年比で10%の燃費改善を目標に明記 燃費向上：2015年度比で16.6%燃費向上(ガソリン車2000cc以下) 	<ul style="list-style-type: none"> 燃費情報は、社用車別、部門別、車種別など幅広く把握し会社に公開
活動成果	<ul style="list-style-type: none"> 事故管理 事故管理：顧客企業向けのエコドライブ体験試乗や「セーフティードライブコンテスト」の開催 活動実績：年度初めに「年度取り組み計画」を提示 	<ul style="list-style-type: none"> 事故・燃費の相関 エコカー(EV・e-power車・軽自動車)、安全対策給油車(燃費グレーカー等)の積極的な導入
継続実績と方策	<ul style="list-style-type: none"> エコカー等 継続工夫：テレマティクスの運転診断・各種検知データを分析し、組織から個人に焦点をあてた教育の実施 	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 評価ポイント：役員筆頭の推進体制とエコドライブの習慣化へのアプローチ
----------------	--

企業一丸となって実施するエコドライブ活動

「業務における事故から社員を守りたい」といった経営方針のもと、加害・被害、人身・物損を問わずすべての事故を対象とした事故削減を目指しており、事故の未然防止のための運転行動としてエコドライブを推進。
 全社一丸となってエコドライブ活動を推進するため、役員を筆頭に部長、次長クラスの幹部メンバーで構成されたエコドライブ推進体制を構築。月1回の定例会議では、毎月の走行データや燃費推移を展開するなど、エコドライブの進捗管理を実施。さらに、テレマティクスの点数や事故状況、燃費の推移を部署別に管理。現場のマネジメントに落としこんでいる。これにより現場でもテレマティクスの点数や動画などを共有し話題とする文化ができてきた。



エコドライブ推進体制

教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 評価ポイント：テレマティクスデータの徹底活用、リモート講習など先進的なエコドライブ活動
--------------	---

豊富なデータと経験に基づくドライバー教育

社内教育資料には、安全な運転行動がエコドライブであることを納得してもらう資料を独自に作成。エコドライブでなぜ事故が減るかを具体的に示したほか、テレマティクスから得られる自社の事故動画や危険な運転動画などを教育資料に反映し、社内で得られた知見を蓄積し活用。
 また、継続的な活動でエコドライブが社内に定着しつつあり、総花的な講習会から、新入社員や新任管理職にターゲットを絞った講習会を行っている。さらに、オンラインを活用したリモート講習も実施。場所や時間の制約が少なくなり、受講率が向上。社内でも実施したリモート講習の手法を顧客企業へも広めている。



社内講習資料

活動成果	<ul style="list-style-type: none"> 評価ポイント：顧客企業へのエコドライブ波及効果のある取組を実施
-------------	---

顧客向けコンテストに「テレマティクス活用部門」を新設

カーリース契約の顧客向けに毎年開催している「エコ&セーフティードライブコンテスト」にて、テレマティクス活用部門を新設。顧客企業を巻き込んだ取組でテレマティクス活用を積極的に推進することで、社外にも効果的なエコドライブの取組方法を広めている。
 エコドライブの実施度合いをテレマティクス機器によって点数化し、目標設定に利用することを顧客企業に推奨。テレマティクス機器の導入だけに注力するのではなく、効果的な活用方法など、当社で蓄積したノウハウを広く顧客企業へ公開し、顧客のエコドライブ・事故削減を推進している。



テレマティクス活用部門

活動成果	<ul style="list-style-type: none"> 評価ポイント：エコドライブの習慣化に関する分析とその結果の波及活動
-------------	---

テレマティクスを活用したエコドライブの論文を発表

今までの活動の成果からエコドライブと事故削減の学術的なアプローチとして、論文「テレマティクスを活用した「エコドライブ+法令順守」の習慣化」を作成。日本交通心理学会にて発表することで、テレマティクスを活用したエコドライブの推進が事故削減に成果をもたらすことを学会会員へ訴えた。
 この論文は大手自動車教習所のコラムに取り上げられるなど、更なるエコドライブ普及に向けて影響を与えている。



論文「テレマティクスを活用した「エコドライブ+法令順守」の習慣化」



さいたま市役所

所在地：埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-4
 業務内容：行政機関
 換点数：17
 従業員数：15,659名
 車両数：1,156台
 活動実績：13年



市役所・市民・事業者が一体となって進めるエコドライブ活動

さいたま市では2005年に「さいたま市交通環境プラン」を策定し、自動車からの環境負荷の低減活動を実施。2008年にはエコドライブ取組方針を設定、本格的なエコドライブ活動の取組を開始した。

エコドライブ普及推進のため市民、事業者及び、市内向け事業としてそれぞれ取組を実施。特に市民向けとしてはPR活動や「テレビ、ラジオ、SNSなどを活用して」エコドライブに関する情報を発信している。

エコドライブ活動の成果

2007年 대비
11.8%燃費向上
 (HV2000cc以下)
事故件数66.7%削減
 (重大事故)

受賞事業者の声

エコドライブの活動を継続して行ってきたことが、「優秀賞」として評価されたので、とても光栄に思います。
 今後も自動車による環境負荷を低減するため、継続して取り組んでまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 全体取組 体制・目標 点検・整備 	<ul style="list-style-type: none"> 2005年さいたま市交通環境プランをスタート、2008年エコドライブ取組方針を設定、2011年さいたま市交通環境プランを改正 公用車を運転する職員全員(約6,000人)が活動に取り組み体制を整備 	<ul style="list-style-type: none"> 公道運送の学習を定め、公用車を使用することで白濁前線により事故実施 		
教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 現場啓発 教育資料 教育実施 	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ取組方針の目標にて環境問題について啓発 エコドライブ取組方針及びエコドライブ実施要綱を定め、職員へ周知 	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ10のすすめに基づいたエコドライブチェックシートで同乗者による啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ10のすすめに基づいたエコドライブチェックシートで同乗者による啓発活動 	
燃費管理	<ul style="list-style-type: none"> 燃費管理 燃費目標 	<ul style="list-style-type: none"> 公用車を所管する各課所が毎月、自動車運行管理表を提出、燃費データはシステムに登録、管理している 	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ取組方針にて二酸化炭素排出量35%削減を定める 	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ取組方針にて二酸化炭素排出量35%削減を定める 	
活動成果	<ul style="list-style-type: none"> 燃費向上 事故管理 対外活動 	<ul style="list-style-type: none"> 事故データは車両の管理部門にて管理 市民向けエコドライブ普及として市ホームページやSNSによる普及・啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 2007年 대비 11.8%燃費向上 (HV2000cc以下) 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月22日をエコドライブの日と定め、のぼり旗を車両出入口に設置、職員及び乗客へ啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月22日をエコドライブの日と定め、のぼり旗を車両出入口に設置、職員及び乗客へ啓発
継続実績と方策	<ul style="list-style-type: none"> 活動実績 独自工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 2008年エコドライブ取組方針を設定し、エコドライブの全庁的な取り組みをスタート 2009年度から電気自動車普及施策としてE-KIZUNA Projectを取り組む 公用車を新車購入する際は原則、次世代自動車としている 			

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント：さいたま市としてのエコドライブ推進計画を作成

三位一体(市役所・市民・事業者)で進めるエコドライブ活動

2008年4月より「さいたま市エコドライブ取組方針」を制定。職員のエコドライブを徹底し公用車の走行距離当たりの二酸化炭素排出量等集計と報告を推進している。

2011年3月より市役所として市民向け、事業者向けに取組を実施。市民向けでは自動車運転免許更新時にエコドライブを広報。事業者向けにはエコ通勤優良事業所認定推進事業を実施している。



さいたま市エコドライブ取組方針

燃費管理

評価ポイント：約6,000人の燃費データを集計分析する体制を整備

徹底した役割分担で大規模組織のエコドライブ活動を実現

公用車を保有する各課所ではドライバーが走行距離や給油量を手書きで記録し、1か月間の手書きデータを各課所の担当者が自動車運行記録表へ集約。さらに、作成された自動車運行記録表を環境部門と車両の管理部門が共同で回収し、データ分析を行うことで市役所全体の燃費やCO2排出量を計算している。

また、全車両の走行距離・給油量・燃費のデータは環境部門が管理し、燃費データは埼玉県とも共有している。

自動車運行記録管理表

活動成果

評価ポイント：地域社会に貢献するエコドライブ普及活動

市民向け・事業者向けのエコドライブ講習やキャンペーンを開催し、意識造成

市役所として事業者に向けてエコドライブ講習会などを実施し、地域へのエコドライブ推進に貢献。
 また、市民向けのエコドライブの啓発活動として、市内ショッピングモールにて「タイヤチェックで燃費アップ!」イベントを埼玉県タイヤ協同組合や自動車教習所等と連携し開催している。

対面での啓発が難しい時期は、さいたま市に設置されている大型ビジョンにてエコドライブ推進の動画を上映等、地域住民のエコドライブ意識アップを図っている。



ショッピングモールでの啓発活動

継続実績と方策

評価ポイント：非対面でのエコドライブ推進活動の実施

SNSの活用など新たな取組も積極的に実施

従来の事業者や市民との対面イベント以外にも、エコドライブを普及するための新たな取組に注力。テレビやラジオでのエコドライブ実施の呼びかけや、ブログやSNSなどインターネットサービスを活用した啓発活動も実施している。

様々な手法で情報発信を行うことで、多くの市民や事業者にもエコドライブの重要性や取り組み方を広く普及している。



さいたま市のSNSアカウント



DINS関西株式会社 GE事業所

所在地：大阪府西区築港新町1-5-38
 業務内容：廃棄物処理業
 拠点数：1
 従業員数：74名
 車両数：8台
 活動実績：16年



質の高い取組をグループ全体に浸透するよう活動

環境保全活動の一環としてエコドライブ活動を開始。具体的な目標値を設定し、車種・使用用途ごとの燃費管理や講習の実施など、質の高いエコドライブ活動を行っている。コロナ禍で講習会等が中止になる中、**社内独自で従業員向け講習を実施**、レベルの高い活動を継続し、現在では社内全体に質の高いエコドライブの取組が波及し始めている。

エコドライブ活動の成果

2007年度比
22.1%燃費向上
 (小型自動車)
無事故継続
 (すべての事故)

受賞事業者の声

環境大臣賞という栄誉ある賞を受賞でき、大変光栄です。今回の受賞を励みに、今後も従業員一丸となりエコドライブに努めてまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 全体取組：エコアクション21環境活動を通じ、エコドライブ活動を実施 体制・目標：明確 点検・整備：日常点検は車両使用ごとに実施、定期点検は時期・ルールを決めて実施 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月エコドライブの進捗をまとめ、エコアクション21委員会で開催、管理
教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 研修問題：エコアクション21委員会にて環境問題について毎月講義 教育資料：使用用途が異なるため、車両特徴ごとに教育資料を分けて教育 教育実施 	<ul style="list-style-type: none"> 年に2回、自動車の使用用途別に講習を実施
燃費管理	<ul style="list-style-type: none"> 燃費管理：記録した燃費データを毎月のエコアクション21委員会にて報告 燃費目標 	<ul style="list-style-type: none"> 取組目標一覧表にて次年度以降、中長期的燃費目標を設定
活動成果	<ul style="list-style-type: none"> 燃費向上：2007年度比で22.1%燃費向上(小型自動車) 事故管理：エコドライブ活動以前より事故件数を管理 対外活動 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、会社ホームページのエコアクション21進捗レポートにエコドライブ活動に関する情報を掲載
継続実施と方策	<ul style="list-style-type: none"> 活動実施：2006年より活動開始 エコカー等：コネクティッドカーを導入し走行データや燃費などをクラウドで管理 独自工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 全員参加型の「内部コミュニケーション」において活用交換や提案を実施

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント：活動成果などを効率的に水平展開する仕組みを構築

エコアクション21委員会を起点とした情報共有の仕組みづくり

毎月、各部署のエコアクション21委員が集まる委員会を開催し、燃費結果を含む環境活動の進捗状況を報告。報告内容は部署ごとに実施する内部コミュニケーションで共有され、全従業員に周知できる仕組みが構築されている。
 さらに、エコアクション21の活動を通してエコドライブだけでなく、「ガス」「電気」「水」「廃棄物」削減などにも取り組んでいる。全社で取り組むことで、環境活動や環境負荷低減の意識を醸成。エコドライブに取り組む目的の幅が広がり、より従業員に浸透しやすくなった。



エコアクション21委員会

教育の実施

評価ポイント：燃費改善につなげる工夫を凝らしたエコドライブ活動

車両の使用用途別の講習や独自の教育資料を作成

全従業員に向けて実践的なエコドライブ教育を行うため、一般従業員の他、収集運搬車ドライバー向けのエコドライブ講習も実施。業務内容により運転する目的や車種が異なるため、収集運搬車と一般車で教育内容を分けていることで、より効率的な燃費改善につなげている。
 また、社内講習会に加え、堺市環境指導課のエコドライブ講習も受講。近年はコロナ禍により開催されないため、社内の担当者が教育資料を作成し従業員向けに講習を実施。活動を推進する社内メンバーの創意工夫により、高いレベルでの取組を続けている。



大型車用・普通車用講習会

活動成果

評価ポイント：徹底した燃費把握で取り組むエコドライブ活動

細やかな燃費分析や燃費計で取組を活性化

担当部署が満タン法で燃費を算出し、車種毎の燃費推移を管理。目標達成・未達の要因を毎月分析し記録している。
 また、ドライバーが常に瞬間燃費と平均燃費を把握できるよう燃費計を活用。車両に燃費計が標準搭載されていない場合は燃費計を後付けし、全車両でアクセルの踏み方による燃費の変化などがすぐに把握できるようにしている。
 エコドライブの実践結果を分かりやすくドライバーに伝わるように工夫することで、意識高く活動を実施できる体制を整えている。



燃費計の活用

活動成果

評価ポイント：1つの事業所で始めた活動が企業全体に波及

エコドライブの取組が企業全体の環境活動のレベルアップに貢献

もともと別会社だった4つの事業所が個別の環境活動を行っていたが、近年は徐々に取組内容を統合。その結果、GE事業所が実施していた質の高いエコドライブ活動はDINS関西全体の環境活動のレベルアップに貢献している。
 今後はさらなる活動規模拡大に向けて、グループ企業全体で高レベルなエコドライブ活動に取り組むことを目指していく。



グループ体制図



仲田総業株式会社 川田事業所

所在地：栃木県宇都宮市川田町836-3
 業務内容：廃棄物処理業
 拠点数：1
 従業員数：25名
 車両数：39台
 活動実績：13年



現場の意見を積極的に活動に取り入れ活動レベルを高める

2009年に取得したグリーン経営認証とエコアクション21をもとに、全社的にエコドライブ活動に取り組んでいる。トップダウンでの制度や仕組みづくりだけでなく、現場ならではの気づきを取組に活かし車両ごとに異なる目標を設定するなど、ドライバーの積極的な取組参加を図る。

エコドライブ活動の成果

2020年度比
6.9%燃費向上
(中型ディーゼル車)
事故件数50.0%削減
(保険適応)

受賞事業者の声

この度は大変名誉ある「優秀賞」をいただき誠にありがとうございます。エコドライブ活動は経営と現場が一体となり、精力を結果して取組んだことにも評価を頂いたものと心より御礼申し上げます。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	グリーン経営認証、エコアクション21に基づきエコドライブ活動を実施	経営者取組、現場、従業員「エコドライブ活動推進」等奨励し、その実践に意を促すこと、実施体制を構築
	体制・目標	高稼働率 高稼働率 タイヤの空気圧や排ガス(黒煙)を定期的にチェック	
教育の実施	教育期間	環境行動計画を策定し、全社的にエコドライブ活動に取り組む	毎日の社内安全教育マニュアルの読み合わせによる安全管理
	教育資料	教育実施 毎月ドライバー全員が安全運転自己診断書を提出し、心身健康の把握と管理	安全教育マニュアル
燃費管理	燃費管理	燃費データはエコドライブ管理責任者が管理、集計、結果は本社の総務課でダブルチェック	グリーン経営認証、エコアクション21に掲げる数値として目標燃費を設定
	燃費目標	燃費向上 -2020年度比6.9%向上(中型ディーゼル車)	エコドライブ活動コンクールへの参加を地元新聞や車庫への大衆ポスター貼付などで告知
活動成果	事故管理	事故は自社指定の報告書で管理	
	対外活動		
継続実績と方策	活動実績	-2009年より活動開始、同年にグリーン経営認証を取得	3か月単位でエコドライブと安全運転を評価、表彰する取組を実施
	エコカー等 独自工夫	-テレマティクス装備車のドライバーには運行データを活用した教育を実施	

エコドライブ活動 主な応用取組

教育の実施

評価ポイント 専門性の高い教育・指導を行う工夫

各分野の専門家を講師に招くエコドライブ講習

長年取引をしているエコドライブ活動に関係する専門家を招き、定期的に講習会や指導を依頼。自動車販売メーカーやタイヤメーカー、保険会社など様々な分野の専門家からの指導を受けることで、ドライバーだけでなく、管理・担当者も新たな気づきを得られている。

また、複数の分野について講習を受けることでマンネリ化を防げるとともに、エコドライブを楽しむポイントが見つけやすく、ドライバーの積極的な活動参加につながっている。



講習会風景

燃費管理

評価ポイント 運搬重量などを考慮してエコドライブの実施度合いを評価

徹底したデータ分析により実現した納得感のある燃費指標

燃費データは運行日報に基づき全車両の走行距離、給油量、運搬重量を毎日PCに入力し管理。さらに、3か月ごとに燃費データを集計し社内連絡表に記載することで、ドライバーを含む全従業員にエコドライブ活動の成果を共有している。

また、各ドライバーのエコドライブの実施度合いは、単純な燃費結果だけでは判断せず運搬重量なども考慮した独自の指標で評価。実態に合わせた燃費評価ができるよう工夫することで、ドライバーが納得感を持ってエコドライブ活動に参加できている。



燃費データの提示

活動成果

評価ポイント 現場の意見を取り入れて燃費改善を実現

車両の使用用途や車両タイプ別に実施するエコドライブの工夫

日々のエコドライブに加え、車両タイプ別に様々な工夫を取り入れている。普通貨物車両では、運搬用途に際プラスチック類を増やし積載量を軽減。さらに運行ルートの見直しを行い、エコドライブとの相乗効果により、2020年度比で燃費が41%向上した。

また、短い距離の運転が多く燃費向上が難しい中、現場のドライバーが主導的に対策を考案。加速や減速を丁寧に、アイドリングの時間を減らすなど工夫を重ね、中型貨物車両では7%、大型貨物車両では12%の燃費向上を達成。堅実な取組を続けていくことで、大幅な燃費改善につながった。



燃費管理・分析

継続実績と方策

評価ポイント 活動を継続させるための意識醸成の取組

朝礼や車両清掃でドライバーのエコドライブ意識をアップ

継続が大切であるという考えから、毎日朝礼にて「エコドライブ10のすすめ」から1標語を唱和。エコドライブの意識付けを行っている。

さらに、ドライバーが安心して運転できるよう、常に自社内で車両整備や清掃を徹底。整備された綺麗な車両と清潔な服装で仕事ができる環境を構築することで、ドライバーのエコドライブの実施度合いが高まった。

小さな取組も着実に実行・継続したことで、エコドライブ意識だけでなく運転行動にも変化をもたらした。



車両清掃の徹底





エステー株式会社

所在地：東京都新宿区下落合1-4-10
 業務内容：日用品メーカー
 拠点数：9
 従業員数：953名
 車両数：111台
 活動実績：1年



2021年の活動開始から短期間でレベルの高いエコドライブ活動を実施

環境に関する取組として「みんなの地球の空気のために」をテーマに脱炭素化・再資源化の取組を推進。その一環としてCO2排出力削減を目的にエコドライブ活動を開始。

2021年から活動を開始し自社で作成した資料や動画などを活用した教育を実施。今後も活動の趣向を凝らし、更なる燃費改善を目指す。

エコドライブ活動の成果

2021年度エコドライブ活動スタート

1.4%燃費向上
 (全車)
 無事故継続
 (重大事故)

受賞事業者の声

弊社の取組を「優秀賞」として評価頂きまして、誠にありがとうございます。今回の受賞は、当社の事業活動において大きな励みとなります。弊社は、気候変動への対応を重要課題と捉えておりますので、引き続き、安全運転・エコドライブを実施し、環境保全に取り組んでまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・環境への取組の一環として、エコドライブ活動を推進	リース会社の点検整備に加えて従業員による乗車前後の日常点検を実施
	体制・目標	・営業本部長をトップとしたエコドライブ活動体制を構築	
教育の実施	点検・整備		
	教育目標	・社内広報を作成し、環境問題とエコドライブの情報を周知	座学講習や入社時の実車講習でエコドライブ教育を実施
燃費管理	教育資料	・独自に教育資料を作成、展開	
	教育実施		
活動成果	燃費管理	・運転日報と社内システムを活用し燃費を管理	エコドライブ活動開始前の燃費を基準として、1年で5%の燃費改善を目指す
	燃費目標		
活動実績と方策	燃費向上	・2021年度比で1.4%燃費向上(全車)	事故件数について管理し、安全運転定例会や環境活動推進委員会にて結果を把握共有
	事故管理		
活動実績と方策	海外活動		
	活動記録	・2021年11月より活動開始	ハイブリッド車専用車に、2021年3月以降CO2排出率を削減し、2021年10月には燃費が7%向上
活動実績と方策	エコカー等		
	他社工夫	・安全運転やエコドライブの取組に関して支店ごとに社長賞を授与される	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント エコドライブに縛られない幅広い環境活動

CO2排出量の削減を目的とした様々な環境への取組

ESG取り組みに基づき、エコドライブ活動を実施。営業本部本部長をトップに、営業支援グループが中心となってエコドライブ活動に取り組んでいる。また、営業車のエコドライブ活動以外にも会社としてのCO2排出量削減を目的に、再生エネルギーの導入を推進。他にも、自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換するモーダルシフトの推進など、環境に配慮した取組を積極的に実施。



中長期ESG推進プラン「空気をかえようAction 2030」

教育の実施

評価ポイント 従業員の運転レベルに合わせた実車講習

ドライバーへのアンケートを実施し取組を改善

営業車を使用する従業員に対して、年に1度エコドライブに関する座学講習を実施。講習内容についてアンケートを行い、次年度以降の改善に役立てている。また、車の運転に慣れていない新入社員が増えていることから、座学のみでなく毎年新入社員に対してドライビングスクールでの実車講習も実施。座学だけでなく実車での講習も行うことで、実地的なエコドライブ教育が可能。



アンケート結果の分析

教育の実施

評価ポイント 教育資料を自社内で作成することで管理者側もレベルアップ

自社作成資料や動画で行うドライバー教育

自社でセーフティ&エコドライブNewsという独自資料を月に1度作成し、発行。エコドライブのコツや走行パターン別のポイントなどをまとめており、従業員へ適切な情報提供を行っている。さらに、コロナ禍で外部講師を招いての講習が実施できなかったため、自社で動画を作成。各事業所に視聴してもらうことで、継続してエコドライブ教育を実施。エコドライブ教育を最大限工夫することで、短期間で高い活動レベルを実現。



セーフティ&エコドライブNews

燃費管理

評価ポイント 燃費改善に向けた徹底的なデータ活用

社内システムを活用した燃費管理・燃費分析

車両ごとに日々の走行距離と給油量を運転日報に記録。燃費データを社内システムで管理し、車両ごとの月間燃費などを一目でわかるように保管している。さらに、このデータをもとにエコドライブの進捗資料を毎月作成し、拠点ごとの燃費改善率も算出。燃費データを徹底的に分析することで今後の改善に役立てている。さらに、四半期に1度エコ安全ドライブ報告書を作成し、社内に活動の成果を報告することでエコドライブ意識の維持を図っている。



エコドライブ進捗資料・エコ安全ドライブ報告



株式会社エコワスプラント

所在地：東京都西多摩郡日の出町平井2-10
 業務内容：産業廃棄物中間処理業・収集運搬業
 拠点数：2
 従業員数：82名
 車両数：43台
 活動実績：10年



トップダウンからボトムアップへ体制が整い、全社で取り組むエコドライブ活動

環境方針を部署ごとで策定し、全社で積極的にエコドライブ活動を推進。また、ドライバー教育にも力を入れており、組織として燃費改善への意識向上を図っている。
 毎年取組の見直しを図り、ボトムアップによる新しい取組を採用することで、継続的なエコドライブ活動の発展・進化をこれからも続けていく。

エコドライブ活動の成果

2020年度比
5%燃費向上
 (貨物中型車)
事故件数14件削減

従業員の声

従業員が一丸となりエコドライブ活動に努めてきた結果、環境大臣賞を受賞することができました。
 今後とも覚悟ある質に近づけようエコドライブ活動を推進してまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

	全体取組	部門別エコドライブ活動宣言を策定、企業全体の取組みとして実施		車庫別エコドライブ推進リーダーを育成した点の推進
	体制・目標			燃費改善に向けて
	点検・整備	法定点検に加え社内独自点検の実施、管理表・日報などを作成し活用		車庫に配属した「燃費人」の育成に向けた研修、 equal の実施
	環境知識			地球温暖化 CO2削減
	教育資料	独自のドライバーマニュアルを作成し、全ドライバーに配布・活用		車庫グループ別に専用マニュアルを作成し、各自員自らでも日報を設定
	教育実施	入社後の一週間の研修を終った後、再研修や改善指導を実施		2020年度比 5%向上(貨物中型)
	燃費管理	日報データを運行管理課がデータ入力し車種別に燃費集計		燃費管理
	燃費目標			燃費削減
	燃費向上			燃費削減
	事故管理	事故件数の減少、副次的効果として削減された保険料の還元実施		燃費削減
	対外活動	自社HPにてエコドライブ活動の取組を掲載		燃費削減
	活動実績	2013年より活動開始		燃費削減
	エコカー等			燃費削減
	継続実績と方策	「チャレンジ無事故180日」など参加型のイベントを開催 「名成績の見える化」で事故の把握と競争意識や連帯感を高める		燃費削減

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

効率的な輸送を実現しCO2排出量を削減

エコドライブ活動を通じた経営改善

今年度は前年度比で産業廃棄物の処理量は増加しているが、会社全体における車両の走行距離は減少、昨年より効率的な輸送を実現し、輸送重量あたりのCO2排出量を削減している。
 また、関東圏では産業廃棄物の最終処分場がなく、広域輸送が必要になる際はフェリーや鉄道などによるモーダルシフトを実施。費用面では自社トラックで輸送した方が安い、CO2排出量削減の観点で取り組んでいる。



モーダルシフト

教育の実施

評価ポイント

業界団体に対する自社ノウハウの展開

エコドライブビデオを作成し業界団体に提供

エコドライブ普及のため、自社制作のドライバーマニュアルを業界団体に提供。共通マニュアルとして全組員に配布している。
 また、同社の代表取締役社長が主体となってエコドライブビデオを作成し組員に配布。全組員でのエコドライブ活動コンクールへの参加も呼び掛けており、業界全体でエコドライブ活動を推進していく活動を実施。業界団体を通じて業界内へのエコドライブの普及を行っている。



建廃ゼミ
 産業物の過積載と比重
 建設廃棄物の削減
 エコドライブビデオ

エコドライブビデオ

燃費管理

評価ポイント

ドライバーに役割を与え主体性を引き出す工夫

テレマティクスサービスを活用した効率的な改善の取組

テレマティクス機器を全車に導入。急発動データを基にヒヤリハットの動画を抽出し、乗務員会議で映像を視聴。また、テレマティクスサービスのエコドライブ点数が悪いドライバーが、トラックメーカー主催のエコドライブ講習に参加し、社内での改善リーダーとして研修内容を社内に展開。
 さらに、危険な運転があったドライバーに対しては、ドライブレコーダーの該当シーンをチェックし指導している。



ドラレコ画像と分析結果

活動成果と評価

評価ポイント

活動によるコスト削減効果を活用したインセンティブ設計

削減した保険料金をドライバーに還元

社員からの提案で車両管理システムを導入し、事故などの情報分析に活用し事故低減化を図っている。その効果もあり事故件数が減少。その副次的効果として保険料金も減少しており、削減された保険料を社員に還元している。
 無駄な運行時間を削減したドライバーに対して削減分を燃費手当として支給。この手当の導入によりドライバーが効率的な運行ルートを自主的に考え無駄な走行を削減したうえ、事前に渋滞を回避するなどの工夫を行なうドライバーが増加した。



事故件数と副次的効果





ネットヨタ山形株式会社

所在地：山形県山形市東青田5丁目1-1
 業務内容：自動車販売業
 拠点数：13営業所
 従業員数：326人
 車両数：326台
 活動実績：9年



多数のイベント開催や会社全体に向けての情報発信で、より波及効果の高いエコドライブ活動

「チームネット」に関わる全ての皆さまと一緒に、笑顔と幸せであり続けるため、その想いを掲げ全11店舗でエコドライブ活動を推進。対外向けのエコドライブ教室はこれまでに約500組の皆さまが参加。自社内の教育や周辺地域へのエコドライブの普及活動など、様々な取組を組み合わせることで活動の幅を拡大している。

エコドライブ活動の成果

2022年度比
12%燃費向上
 (HV車)
事故違反の減少

受賞事業者の声

この度は「優秀賞」をいただき、誠にありがとうございます。弊社のネットセーフティ&エコドライブ教室の活動もお陰様で10年目を迎えることができました。今回の受賞を機に、これからもエコドライブ活動を推進してまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

	全体取組		CSR方針に基づき、全13店舗でエコドライブを推進
	取組体制の整備	本社サポート本部と各店舗の環境マスター資格者(令和5年より脱炭素コミュニケーターに変更)を中心とした活動体制	
	点検・整備	毎月、店舗管理者や検査員がメンテナンス実施の状況を確認	
	環境情報	・ショールームへの啓発ポスターの掲示	
	教育資料	・チラシ配布による啓蒙活動 ・エコドライブ10のすすめを活用	
	教育の実施		全員参加型の「内部コミュニケーション」を毎月実施 内部コミュニケーション
	燃費管理	・エコドライブコンテストで燃費改善のモチベーションアップ	各店舗で燃費データを集約し管理・分析
	燃費目標		
	燃費向上	・2022年度比 12%向上(HV2000cc以下)	
	事故管理		事故・違反データを管理、店舗別事故・違反ともに減少
	活動成果	対外活動	企業、アカデミー、大学生、小学生向けの教室の開催を主催
	活動実績	・2014年4月より活動開始	ハイブリッド車両やエコドライブ先進機能を導入
	エコカー等		
	継続実施と方策	独自工夫	・「ネット・エコドラ・コンテスト」ゲームや個人で燃費などを競い合い、事故削減や燃費改善

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

資格保有者を中心とした強固な活動体制

エコドライブなどの知識を習得した環境マスター(=脱炭素コミュニケーター)を各店に配備

各店に数名ずつ、地球温暖化や環境及びエコドライブに関する知識を習得した「環境マスター資格保有者(脱炭素コミュニケーター)」が在籍。本社サポート本部と各店舗の環境マスター資格保有者を中心に活動体制を構築。また、全社員がエコドライブの普及を通じて、お客さまとそのご家族、地域の皆さまに「町いちばんの私のお家のクルマやさん」として運転方法をアドバイスしてお役に立つことを目的とし、同社のエコドライブ活動の中心である「ネットセーフティ&エコドライブ」を実践。



営業スタッフが使用するチラシより

教育の実施

評価ポイント

全店で朝礼時にセーフティ&エコドライブ教育を実施

一人ひとりのセーフティ&エコドライブのノウハウを全社員に共有

毎朝、全店舗にて朝礼当番が「セーフティ&エコドライブ」について、みんなの前で自分自身の運転の振り返りや運転した際に気づいた点を話し、周りにアドバイスしてもらっている。結果、一人ひとりの当事者意識を高め、参加者全員で情報を共有している。また、全社員がエコドライブ講習を受講することで、エコドライブの知識や習慣を根付かせている。新入社員が入社した際には、同様の講習をその都度開催しドライバー教育を徹底。



ネットエコドライブ講習会

活動成果

評価ポイント

先進安全機能の体験で、輪を広げた環境保全活動を実施

約500組に及ぶ顧客に向けたエコドライブ教室の開催

2015年から「ネット セーフティ&エコドライブ教室」を全11店舗で開催し、延べ499組の方が参加。新型車両の試乗や先進安全機能の体験、燃費計活用方法の伝授などイベントを通じてエコドライブを普及。近年は燃費改善だけでなく「セーフティ(安全運転)」の内容を組み合わせることで活動の幅を拡大。

2017年からは取引先や役所、地元サッカークラブなどにも対象を増やして実施している。さらに、今まで販売業務に注力していた休日にもイベントを開催することで若年層参加率向上を実現。



地元サッカークラブでの開催風景

活動成果

評価ポイント

カテゴリーを排気量毎に3に分け、HEV車部門も実施

店舗や個人で燃費などを競い合いモチベーションをアップ

店舗や個人で燃費などを競い合う「ネット・エコドラ・コンテスト」を実施。カテゴリー毎に排気量で3部門に分け、HEV車部門も実施。各部門ごとに毎月の平均燃費・最高燃費のランキングでポイントが獲得でき、各カテゴリーの年間王者を表彰。 同社では個別の燃費目標などは設定しておらず、燃費ランキングで上位を目指すことが各ドライバーのモチベーション維持につながっている。



ネット・エコドラコンテスト表彰式





シスメックス株式会社

所在地：兵庫県神戸市中央区臨海通1丁目5番1号
 業務内容：臨床検査機器、検査用試薬などの関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入
 拠点数：25
 従業員数：3,148名
 車両数：385台
 活動実績：4年



エコドライブ機器やリース会社のサービスを活用した効率的なエコドライブ活動

本社環境活動計画に社用車燃費目標を明記し、会社全体の取組としてエコドライブ活動を実施。リース会社と協力してテレマティクスサービスを活用し、効率的なドライバー教育を実施。

また、推進担当者が「優秀事例を全社に共有するためのインタビューを実施」するなど、エコドライブ活動がレベルアップする工夫も実施している。

エコドライブ活動の成果

2018年度比
 2%燃費向上
 (ハイブリッド車両
 2000cc以下)
 事故件数55%削減
 (すべての事故)

受賞事業者の声

今回は大変栄誉ある「優秀賞」をいただき、誠にありがとうございます。これまでの弊社の取組が評価され、大変嬉しく思います。また、弊社では「シスメックスエコビジョン2033」を達成するためにエコドライブに加え、様々な環境に関する取組を今後も続けてまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	エコドライブに関する項目を設定して全社取組
	体制・目標	活動計画を立てて四半期ごとに進捗を管理
教育の実施	点検・整備	点検の遅れがないようリース会社と協力して仕組みを構築
	環境知識	エコドライブの効果やCO2の排出量などを記載した資料を作成
燃費管理	教育資料	リース会社から提供される資料も教育に活用
	燃費管理	本社管理者が燃費記録を管理
活動成果	燃費向上	2018年度比2%向上(HV2000cc以下)
	事故管理	事故の原因と対策をテレマティクスフィードバックに合わせて発信
経営実績と方策	活動実績	2018年度より活動開始
	独自工夫	テレマティクス運行データの分析結果をフィードバック

エコドライブ活動 主な応用取組

教育の実施

評価ポイント

リースを有効活用しエコドライブを効率的に実施

テレマティクスサービスデータを活用した継続的なエコドライブ活動

エコドライブ活動ではリース会社より導入したテレマティクスサービスを活用。テレマティクスサービスデータを本社管理者が毎月分析し、ドライバーへフィードバックを実施している。

また、自社内で実施するエコドライブ講習では総務部が作成したものだけでなく、リース会社が提供するエコドライブや安全運転の教育資料を活用するなど、社外のリソースを有効に活用しながら効率的にエコドライブ活動を行っている。



テレマティクス機器を導入

教育の実施

評価ポイント

映像を活用した納得感のあるドライバー指導

エコドライブ支援機器を有効に活用した安全指導を実施

テレマティクスサービスによるドライバーの運転評価を各拠点の安全運転管理者に毎月フィードバック。さらに、危険挙動が検知された場合は、各安全運転管理者がドライブレコーダーの映像を用いてドライバーに個別にヒアリングと改善のための指導を行っている。単に危険挙動の検知数について指摘するのではなく、ドライバーにとって納得感のある教育を実施することで急加速などの危険運転を削減している。



映像を活用した教育

活動成果

評価ポイント

好事例の共有とモチベーションのアップを同時に実施

インタビューを実施し優良事業所の事例を全社に共有

事業所ごとの傾向分析にもテレマティクスサービスのデータを活用。分析の結果、ドライバーの運転評価が高い事業所は事故も少ないことが分かったため、成績が良い事業所にインタビューを実施した。エコドライブ活動でメンバーのモチベーションを維持する秘訣や、無事故を維持する注意点などのヒアリングを行い優良事業所として全社に紹介。さらに、ドライバーの表彰も実施することで好事例の共有とモチベーションのアップを同時に行っている。



優良事業所の事例紹介

継続実績と方策

評価ポイント

CO2排出量を削減するための会社としての工夫

ドライバーにアイドリングをさせない工夫

営業訪問の際に移動先の車内で業務を行う社員が多く、アイドリング時間が多いという実感が調査で判明したため、シェアオフィスを導入。移動先でも業務ができるようにし、無駄なアイドリングが発生しないように工夫した。単にアイドリング時間を減らすよう指導するのではなく、会社としてアイドリング時間が減らせるよう、どのような取組ができるか考え実行に移している。



シェアオフィスを活用



実践方法

2024年度

エコドライブシンポジウム



2024年11月22日 金 13:30~16:00(開場13:00)

場所：千代田区立 内幸町ホール 東京都千代田区内幸町1-5-1
内幸町駅または新橋駅より徒歩5分 (<https://www.uchisaiwai-hall.jp/ecosaa/>)

定員：100名

概要

◆ 2024年度エコドライブ活動コンクール表彰式

国土交通大臣賞、環境大臣賞、審査委員長特別賞、優秀賞等の表彰をおこないます。

国土交通大臣賞 上総運送株式会社
環境大臣賞 株式会社利根川産業
審査委員長特別賞 沖縄トヨタ自動車株式会社

◆ エコドライブの取組紹介

国土交通大臣賞、環境大臣賞を受賞した事業者の取組発表に続き、支援ビジネス・ユニーク部門で審査委員長特別賞を受賞した事業者等からも発表をいただきます。

WEB配信

◆ 後日、エコモ財団YouTubeチャンネルにてシンポジウム開催動画を掲載予定!

(最新の情報はエコドライブ活動コンクール公式サイトにて随時お知らせします)



エコモ財団
YouTubeチャンネル

お申込

メール お名前、ご所属、ご連絡先(電話番号、メールアドレス)を明記し、
[Mail]eco-drive@asua.ne.jp までお送り下さい。

HPより 「エコドライブ普及推進協議会」のHPにアクセスし、お問い合わせコーナーより
「シンポジウムに参加」と記入してお申し込み下さい。 <http://www.ecodrive.jp/>

お申し込み締切 2024年11月14日(木)

※お申込受付につきましては、(株)アスアに委託して実施しております。
(※付資料「申込書」に記載された会社の個人情報の取扱いについてご確認の上、お申し込みください。)

主催 エコドライブ普及推進協議会 / 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

2024年度

エコドライブシンポジウム

日時：2024年11月22日(金)
13:30~16:00(開場13:00)

場所：千代田区立 内幸町ホール
東京都千代田区内幸町1-5-1
内幸町駅または新橋駅より徒歩5分



プログラム(予定)

1. 開会挨拶

- ・公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
- ・国土交通省
- ・環境省

2. 2024年度エコドライブ活動コンクール表彰式

- ・国土交通大臣賞、環境大臣賞、審査委員長特別賞、優秀賞等の受賞
- ・審査委員長講評

3. エコドライブの取組紹介

- ①「2024年度エコドライブ活動コンクール 国土交通大臣賞受賞事業者の取組」
上総運送株式会社
- ②「2024年度エコドライブ活動コンクール 環境大臣賞受賞事業者の取組」
株式会社利根川産業
- ③「2024年度エコドライブ活動コンクール審査委員長特別賞の製品・サービス」
沖縄トヨタ自動車株式会社
- ④「2024年度エコドライブ活動優秀賞受賞事業者の取組」
さいたま市役所

※上記は、現時点での予定です。発表者・内容等は予告なしに変更することがありますのでご了承願います。

【お問い合わせ先】

事務局窓口業務委託先/株式会社アスア エコドライブ活動コンクール担当
TEL.052-452-6886 MAIL.eco-drive@asua.ne.jp

主催者連絡先/(公財)交通エコロジー・モビリティ財団 担当:熊井、内藤、田中 TEL.03-5844-6268



公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

審査委員長特別賞受賞事業者のエコドライブ支援機器・サービス紹介



いすゞ自動車株式会社「MIMAMORI」

所在地：神奈川県横浜市西区高島一丁目2番5号横濱ゲートタワー
 主要製品：大型・中型・小型トラック、バス、自動車用ディーゼルエンジン、産業用ディーゼルエンジン



エコドライブ活動を支援する製品・サービスの概要

MIMAMORIはインターネットを活用したクラウドタイプの有償運行管理システム。車両と事務所を接続し、遠隔で車両運行情報の収集や解析ができる。

エコドライブや安全運転につながる様々なサービスを展開。省燃費運転レポートでは、商用車メーカーならではの運転操作のノウハウを元に、アクセル操作やブレーキ操作、燃費やアイドリング時の燃料使用量等の車両制御情報を表示している。

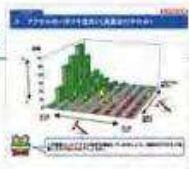
現在MIMAMORIは約6万5千台の車両に利用されている。

ドライバー自身の学習を促すクラウド活用のレポート機能

MIMAMORIは車両を制御するコントロールユニットから直接運転操作データを取得している。そのため、運転操作や稼働状況を詳細に把握可能。正確なアクセル操作やブレーキ操作、急加減速などの状況をドライバーが確認することができ、省燃費・安全運転の改善に活用することができる。

受賞事業者の声

これらもお客様の信頼拡大を旨とし、「商主様」「運送事業者様」「倉庫事業者様」のみならず、社会インフラなどの運送により、物流業界が抱えるさまざまな課題解決に、「貢献するための仕組み」を提供して行きたいと思っております。



レポート機能



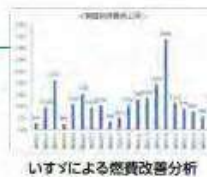
分析機能でドライバー教育をサポート

エコドライブ・トレーニングレポートでは、エコドライブ評価の中で、特に改善が必要な項目を3つピックアップ。ドライバー毎に点数と等級、トレーニングメニューを表示する。等級アップの目標値も表示して、エコドライブ技術の向上を促している。

いすゞ自動車によるMIMAMORIの燃費改善効果調査

MIMAMORIを利用している事業者をランダムに20社選定し、燃費改善率を確認する調査をいすゞ自動車が行った。その結果、平均で11%燃費が改善しており、最高で39%の燃費改善が確認された。

仮にMIMAMORIを利用している全ての顧客事業者が平均と同じ燃費改善率だった場合、年間の燃料使用量で約9,900万L、CO2換算で約25万7千t削減の効果がたと試算している。



いすゞによる燃費改善分析



株式会社渡辺精工社・株式会社トワード「Eco-SAM」

株式会社渡辺精工社

所在地：東京都大田区田園調布本町57-4
 業務内容：器材・工具類販売、各種製品の販売、ICTシステム販売・構築・展開・運用 など

株式会社トワード

所在地：佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津166-13
 業務内容：一般貨物自動車運送事業、情報システム開発販売業 など



エコドライブ活動を支援する製品・サービスの概要

渡辺精工社が販売するEco-SAMは、トワードが開発した波状運転指数という独自のロジックでドライバーのエコドライブの実施度合いを評価することができるサービス。導入事業者数が約1,500社で、搭載車両数は約30,000台の販売実績があり、車載器はシガーソケットから電源を取るだけで使える手軽さから、運送事業者だけでなく様々な業態の事業者にも採用されている。

エコドライブの実施度合いを数値化する波状運転指数

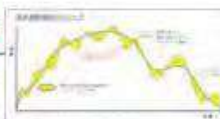
波状運転指数はGPSより取得した車両の速度データから、エコドライブにおける理想的な速度変化との乖離を解析することで、無駄な加速や減速によるエネルギーロス測定。波状運転指数は丁寧な発進や加減速の少ない運転、早めのアクセルオフなどで評価が高くなり、運転の滑らかさを数値化することによってエコドライブの実施度合いを評価している。

急発進や急ブレーキなどの発生で評価をするイベント検知型ではないため、運転をしている全ての時間でエコドライブの実施度合いを数値化することが可能。波状運転指数を意識した運転をすることでエコドライブ技術の向上などにつなげることができる。



受賞事業者の声

私どもは、「Eco-SAMでセーフティ・エコドライブの文化を盛り、地球環境貢献と交通事故削減に全力で取り組む」ことを使命とし日々活動しております。今後もより一層邁進し、広くお客様に普及させていただきたいと考えております。



波状運転指数のイメージ



エコドライブ計測器 Eco-SAM

導入ハードルが低いシステム

車両のシガーソケットから電源をとるだけで使用できるEco-SAMは、ハードウェアの取り付けが簡単で比較的価格も安いため導入のハードルが低い。また、トラックやバスだけでなく一般的な乗用車にも導入できることから、運輸事業者や廃棄物処理事業者の他にも商社やメーカーといった一般事業者にも多く採用されている。

渡辺精工社によるEco-SAMの燃費改善効果調査

渡辺精工社が行った調査では、波状運転指数の評価が1段階良くなると2.4%ほどの燃費改善効果があるという結果になった。また、Eco-SAMを導入している顧客事業者の燃費データを独自に分析したところ、平均で13.6%の燃費改善が見込めるという調査結果となった。

Eco-SAMを導入している事業者からは燃費改善だけでなく、安全運転やタクシーであれば乗り心地の改善にもEco-SAMの波状運転指数が活用できるという声も上がっている。

事業者	導入前	導入後	燃費改善率
1社	10.0%	12.4%	24%
2社	11.0%	13.4%	22%
3社	12.0%	14.4%	20%
4社	13.0%	15.4%	18%
5社	14.0%	16.4%	16%
6社	15.0%	17.4%	14%
7社	16.0%	18.4%	12%
8社	17.0%	19.4%	10%
9社	18.0%	20.4%	8%
10社	19.0%	21.4%	6%
11社	20.0%	22.4%	4%
12社	21.0%	23.4%	2%
13社	22.0%	24.4%	0%
14社	23.0%	25.4%	-2%
15社	24.0%	26.4%	-4%
16社	25.0%	27.4%	-6%
17社	26.0%	28.4%	-8%
18社	27.0%	29.4%	-10%
19社	28.0%	30.4%	-12%
20社	29.0%	31.4%	-14%

渡辺精工社による調査結果



株式会社DATAFLUCT [becoz drive]

所在地：東京都渋谷区道玄坂一丁目19番9号
 第一ビル6階
 業務内容：データプラットフォーム構築・運用支援事業、DX推進支援・運用支援事業、サステナブルデータビジネス事業



企業の車両運行によるCO2排出量可視化・削減支援サービス

エコドライブ活動を支援する商品・サービスの概要

“becoz drive”は、企業の社用車や自家用車通勤シーンにおけるCO2排出量可視化・削減支援サービス。パイオニア株式会社と協業し、車の燃費/電力消費率を推定・予測するPiomatix for Greenの提供を受け、蓄積データによる渋滞回避のための情報レコメンドが可能。

受賞事業者の声

自動運転へのデータ活用は、開発の負担を大きく軽減できると信じています。こうした思いで開発した「becoz drive」が今回受賞ある實を授賞できたことは、大変光栄です。今後も開発を進め、より多くの方に役立つサービスを目指します。

渋滞回避への行動変容を促すアプリ

アプリを使用することにより渋滞回避=エコドライブ(アイドリング時間の削減)を実現する行動変容を促す。アプリからの渋滞回避の提案に応じた場合、渋滞回避を実行しようとした努力に対してポイントなどのインセンティブを付与。さらに、実際に渋滞回避を達成した場合にもインセンティブを付与しアプリ利用者の行動変容を促している。また、渋滞や遅延時間を回避する提案で、従業員に対する働き方改革の糸口になることも期待している。



低い導入ハードルで普及しやすいサービス



専用アプリをインストールするだけで導入可能

車両側への専用デバイスの設置が不要で専用アプリをインストールするだけですぐ使えることから、スマートフォンだけで導入が可能。社用車だけでなく自家用車でも気軽に利用することができる。

地方ではマイカー利用者が多いことや、日本では車通勤率も高いことから自家用車の運転時における渋滞回避=エコドライブを実現することで、CO2排出量の削減という社会課題の解決を目指している。

働き方改革などCO2排出量削減だけではないメリット

アプリを活用し渋滞回避をすることで通勤時間やガソリン代削減などの効果が見込め、エコドライブによるCO2排出量削減以外のメリットを従業員に対して与えることができる。

また、CO2排出量を算出する機能もあり、アプリを利用するだけでCO2排出量のおおよその把握ができ、どのようにCO2排出量を削減していくかの計画立案に役立てることも可能。



エコドライブ講習



<https://www.fine-motorschool.co.jp/>

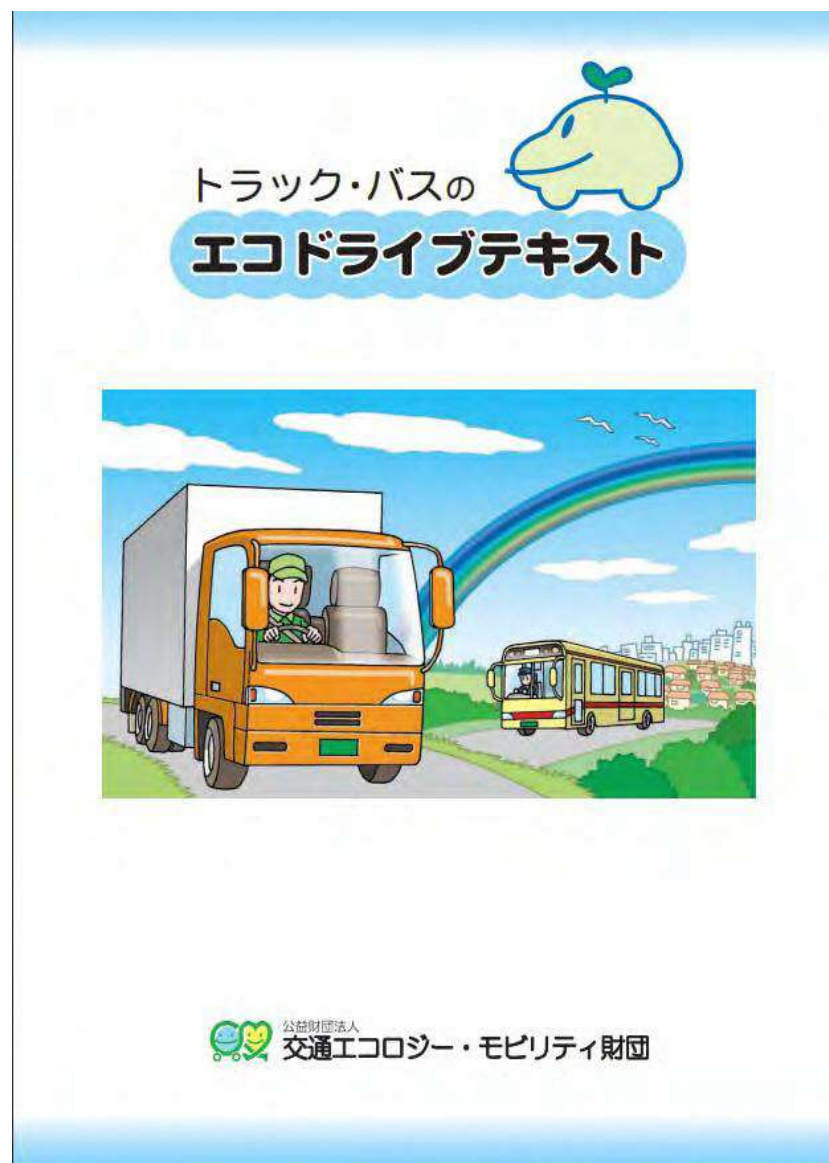
エコドライブ講習登録団体〔乗用車〕（京都府）

京 都 府	0057	山城自動車教習所	〒610-0301 京都府綴喜郡井手町多賀西北河原49	(TEL) 0774-82-2165 (FAX) 0774-82-5251	H21.6.26
	0082	きんき安全自動車学校	〒615-0056 京都府京都市右京区西院西貝川町72	(TEL) 075-872-1881 (FAX) 075-872-1892	H21.11.10
	0240	京都府峰山自動車学校	〒627-0004 京都府京丹後市峰山町荒山738	(TEL) 0772-62-0637 (FAX) 0772-62-6585	H26.7.28

エコドライブテキスト



https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/ecodrive_text_private.html



https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/ecodrive_text_truck.html

運輸・交通と環境

◆ 書籍目次

I. 2023年における環境問題をめぐる動き

II. 運輸部門における主要な環境問題の現状

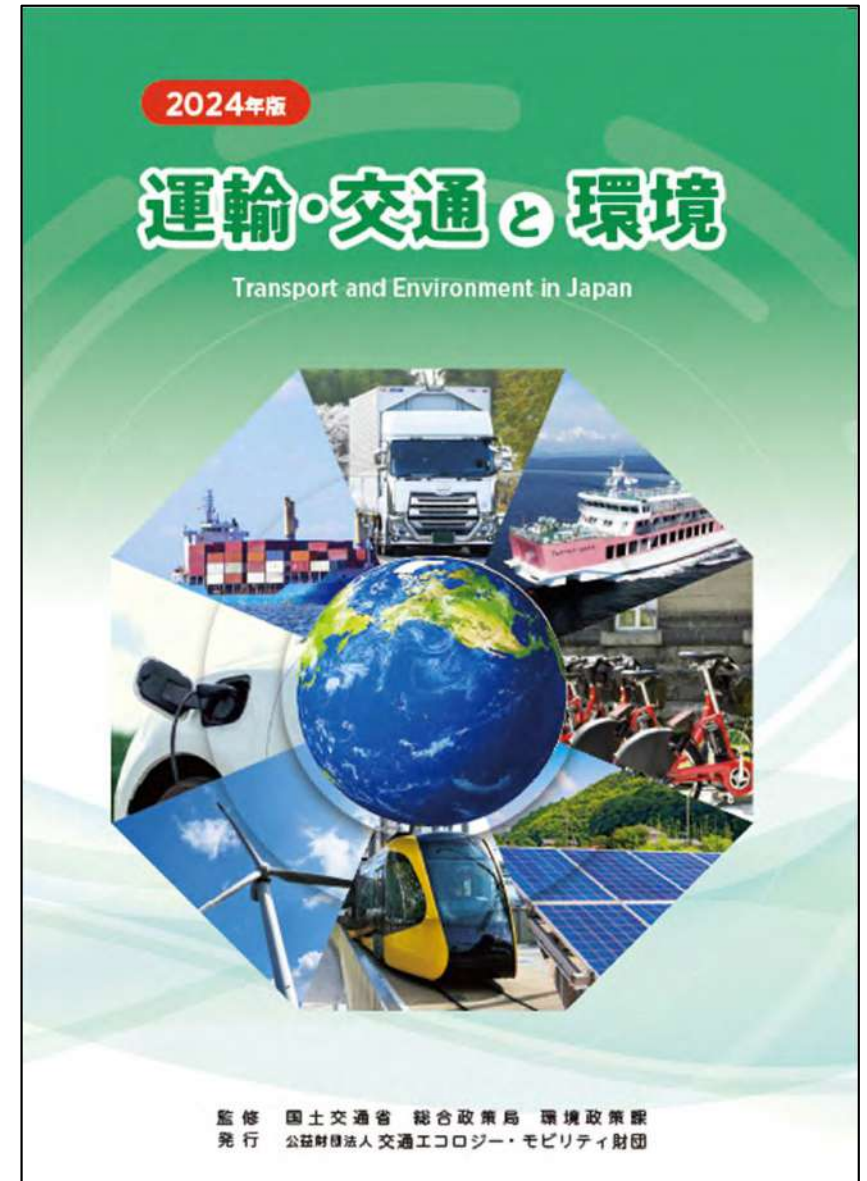
- 地球環境問題の現状
- 自動車の排出ガス問題の現状
- 廃棄物・リサイクル問題の現状

III. 運輸部門における主要な環境問題への対策

- 地球温暖化対策の推進
- トラック・バス等の排出ガス対策の推進
- 循環型社会の構築
- 自治体、事業者、市民団体等の取り組み

IV. その他の環境問題への対策

- 騒音問題への取り組み
- 海洋汚染への対応
- 船舶からの排出ガス対策
- 化学物質対策
- オゾン層破壊防止
- 地球環境の観測・監視
- 国土交通分野の気候変動への適応策



<http://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

ご清聴ありがとうございました